

令和3年度 学校再編に係る住民説明会 意見要旨

日 時:令和3年10月4日(月)

場 所:新開小学校

参加者:19名

職 員:中山市長、三宅副市長、小野寺教育長、勢井副教育長、
 築原教育政策課長、稼勢学校再編準備室室長、河口学校再編準備室係長、
 曾我部学校課長、大島生涯学習課長

- 内 容:1.開会
 2.市長あいさつ
 3.職員紹介
 4.配布資料確認
 5.説明
 6.質疑・応答(意見交換)
 7.閉会

意 見	回 答
<p>①利害関係者を多く入れ議論すればどうか。保護者や地域の意見が吸い上げられていない。</p> <p>②2回目からの説明会はディスカッションをしてほしい。定例教育委員会を傍聴しているが、学校再編について活発な議論がなされていないと思う。</p> <p>③小松島南中学校の見学を申し入れたが、前例がないと断られた。見学はできないのか。</p>	<p>①学校再編準備委員会には、学校の先生や保護者の方、地域の方などに入っていただき十分検討、協議する場をつくっていく。</p> <p>②学校再編計画については教育委員会だけではなく市長部局の各課と連絡調整会議を行い、何度も話し合いをしてきた。定例教育委員会では、教育長と4名の教育委員の合議によって最終決定をするものであり、今までのところ報告や報告に対する質問ということを中心に進めている。今後も計画の実現に向けて話し合いを続けていく。</p> <p>③この件については、学校の方に確認し、検討していきたい。</p>
<p>櫛淵小学校は複式学級になっているのに、なぜ、新小松島小学校から進めていくのか。少ない人数の学校の方を先に統合すればよいのでは。</p>	<p>計画案の中に複式学級が常態化している小学校については、計画期間よりも先に近隣小学校に統合する場合があると示しているので、櫛淵小学校については、時期はいつとはいえないが、そうなることがある。再編については、築年数や児童数を考慮して新小松島小学校からとしている。新開小も老朽化が激しいことは承知しているが、やはり築年数が古い南小松島小学校からと考えている。</p>
<p>学校再編と直接関係ないかもしれないが、幼稚園の老朽化の方にも対応してほしい。</p>	<p>意見聴取会で、小学校、幼稚園、保育所をまわらせていただき、そのときに、そういった意見を承っているので、しっかり取り組んでいく。</p>
<p>7、8年前に新開幼稚園に勤めていたが、子どもの数は30人。でも、少なくとも結構充実した教育ができた。この説明を聞いていたら、大きいからいいというものばかりなのだが、今の学校はマイナスばかりなのか。少人数がすべてマイナスなのか。別に複式学級でもよいのではないか。満たされると考えない、不自由だから考える。私は少ない人数でコンパクトな学校をつくれればいいと思う。</p> <p>現場の保護者、先生、子どもが、本当に大きな学校を望んでいるのか。前回の説明会の時に、お子さんが南中へ行っている保護者の方と話した。幼稚園、小学校の時は子どもがよく分かったが、中学校へ行ったら子どもや先生の姿が分からないと言っていた。果たして大きいのがベターなのか。</p>	<p>少人数を否定しているわけではない。大きな学校になると教員数が増えるので、少人数学級や個別指導の学習形態が可能になる。そのことで少人数を希望する方に対応していく。</p> <p>それと、小学校の教育課程を行っていくうえで、ある程度の人数がなければ学習に制限が出てくる。例えばスポーツ。チームが作れない、個人競技ばかりになるのはどうか。また、運動会。みんなで協力しながらやりとげしていく。大規模校でしかできないメリットもある。</p> <p>教育委員会としては、子ども同士で切磋琢磨したり、話し合ったり協議したりする場面をつくっていききたいと、今回の再編計画をお示しさせていただいた。</p>
<p>説明の中に財政的な側面ということがでてきたが、どういったところがそうなのか。</p>	<p>前回の計画では、2030年までに4校を整備するということだったが、そこに一気に財政を投入するのは難しい。一気に65億を用意して財政を組むことは難しいということで、財政的な面としている。</p>

意見	回答
<p>財政面での平準化ということは理解できるが、前回案と比べて南中校区の小学校開校が遅れている。この点は南中校区住民としては、もう少しいねいな説明があってもよいのではないかと思う。</p>	<p>今回は、子どもたちに一日も早くよい環境をつくるために、今の本市の財政状況の中で財政負担も含め実現可能な計画を案として出した。南中校区の方には開校時期が遅れることで大変ご迷惑をかけるが、市内小学校の中ではやはり南小松島小学校が一番古く厳しい状況で、こちらを先に再編することになる。しかし、新開小もこのまま10年間放っておくのではなく、急いで改修しなければならないところはしていくので、ご理解賜りたい。</p> <p>新開、坂野、立江、櫛淵の皆さんには、今の計画で開校時期が遅れることに対して深くお詫び申し上げたいと思う。古いところからの再編にはなるが、来年から予算をつけて他の学校も整備していきたいと考えているのでご理解いただきたい。</p>
<p>①前回の説明会の参加者はどのくらいいたのか。</p> <p>②新開小は残るので、反対する人はまずいないと思うが、ここからスタートすることはどうなのか。</p> <p>③新開小学校周辺の道路に関しては、不便さがある。</p>	<p>①前回、新開は25名の参加。今回は20名少々で、前回とほぼ変わらない人数の方が参加している。</p> <p>②県内、市内でのコロナウイルス感染症の発生状況、感染拡大防止などの対応により、説明会を2度延期した結果、今日の新開小からのスタートとなった。</p> <p>③通学路に関しては、学校再編準備委員会の通学部会で検討していく。道路については、拡幅も考えられるが、今ある通学路安全推進協議会で関係機関と点検し、整備していく。</p>

【記入用紙にいただいた意見】（新開小学校）

○周辺道路整備、工事中のグラウンド使用、校舎の規模

○地域に学校がなくなれば、地域がさびれ、活気がなくなる。小規模校を継続し、少人数であれば周りの小学校と交流しながら教育を進めてほしい。

○学校の編成方法に疑問。なぜ、児安小、和田島小が単独なのか。距離、人数、費用等で考えたと思われるが、他の編成方法はないのか。

○学校施設の老朽化や児童数の推移を見たときに再編は必要だと思う。

○設備の老朽化が進み、改修費用面を考えると統合はやむを得ない。計画は総合的に考えて立案しているなら計画を変更すべきではない。対話を通じて理解を得ることは大事だが、すべての人が納得することはあり得ない。絶対にこの案が一番と信じてすすめてほしい。

○児童数の推移と再編の方針とスケジュールは、学年単位・年単位で示した方が、イメージしやすいので、省略しないで図表で示してほしい。

基本的な考え方、基本目標Ⅱ-②の内容を達成するために、具体的に何をしようとしているのかを示してほしい。

再編後の人数比がアンバランスすぎる（多少は仕方ないが）。市として教育に取り組むなら、人数比優先による再編を考えた方がよい。

○保育園、幼稚園をまず新しく建ててほしい。

櫛淵小学校がとても人数が少ないので、新小松島南小学校から工事を始めるべき。新小松島小学校は、比較的人数が多いので後でいい。

北小松島小学校の建物がまだ新しいのであれば、新たに建設せず、そこで合併すればいい。人数が多いのであれば、減ってきたときに合併する。

○校舎の老朽化も考えないといけないが、複式学級のことも考えてほしい。これから先、南中学校区域の方が複式学級が多くなるので、こっちの方が先がいいのでは。

新開の開校時期が大幅に変わっていたのは疑問だし残念。

新開小の通学路に大型トラックが通るのが怖い。（セブンへ行くまでの道）

令和3年度 学校再編に係る住民説明会 意見要旨

日 時: 令和3年10月6日(水)

場 所: 小松島小学校

参加者: 18名

職 員: 中山市長、三宅副市長、小野寺教育長、勢井副教育長、
 築原教育政策課長、稼勢学校再編準備室室長、河口学校再編準備室係長、
 曾我部学校課長、大島生涯学習課長

- 内 容: 1.開会
 2.市長あいさつ
 3.職員紹介
 4.配布資料確認
 5.説明
 6.質疑・応答(意見交換)
 7.閉会

意 見	回 答
<p>学校は、教育、防災、スポーツ、地域文化、地域交流の拠点。学校がなくなるとこれらの機能がほぼなくなる。計画案は教育の理念が語られておらず、再編ありきのスケジュールである。再編校は550人規模になるが、郵便局前の交通量などを見ても、千葉県八街市のような事故が起こらないか懸念している。ソフト面の検討も十分にしてほしい。</p> <p>一櫛淵小学校は複式学級になっているのに、なぜ、新小松島小学校から進めていくのか。少ない人数の学校の方を先に統合すればよいのでは。</p> <p>(意見のみ)</p>	
<p>「新たな時代を生きる力」の育成のためにどのようなことをするのか具体的に教えてほしい。学校再編で、小松島ではこんな教育を受けられるといった教育の特色を出して行ってほしい。</p>	<p>「生きる力」とは、「確かな学力」「豊かな人間性」「健康・体力」のバランスの取れた力のことで、この力を育てていくため、一定規模の集団、同年代の集団の中で、社会性も身につけていく。グローバル社会、情報社会に対応するため、外国語、ICTを用いた学習を行ったり、教科担任制で専門的な学習にも取り組んでいく。</p>
<p>新小松島小学校を建設する際に、運動場は使えなくなるのか。</p>	<p>校舎設計は計画決定後になるが、運動場に建てるか、今の校舎の位置に建てていくかによって変わってくる。運動場に建てることになると工事期間中は運動場が使えないことも考えられるので、体育の授業は、体育館を使ったり、近隣の小学校にお願いして使ったりするなどの方法をとっていく。</p>
<p>質問ではなく意見を言いたい。</p> <p>①まちづくり協議会を設立して跡地について協議するのは評価できる。地域の市職員や地域住民で考えて行ってほしい。</p> <p>②跡地について、松小は方向性が示されているのでよいが、他小学校は示されていないので不安だと思う。将来に向けて、公共施設個別計画などを踏まえて考えて行ってほしい。</p> <p>③立地適正化計画と連携して都市の集約、まちづくりをしていくとよいと思う。このままだと、児童人口が減っていてもスクールバスでてんと子どもを拾っていくようになってしまう。</p> <p>(意見のみ)</p>	
<p>住民説明会に来ていない人が、再編計画案を知る方法はないのか。</p>	<p>再編計画案については、市ホームページで見ることができる。また、広報こまつしまに来月から2ヶ月に渡って概要を掲載する予定。市ホームページ、YouTubeで、説明会の資料として用いたスライドを使った説明動画を配信する予定もあり、多くの方に見ていただきたいと考えている。</p>
<p>松小は来年創立150周年。学校がなくなる前にきちんと150周年をしたいという地域の声がある。教育委員会も地域に協力をいただけるとうれしい。</p>	<p>教育委員会としても、地域の方、保護者の方と話したうえで150周年の節目の年を飾れるような形で協力していきたいと考えている。</p>

意見	回答
<p>学級の小規模化によって学力が上がるというデータを文科省が出している。特に秋田県は少人数で学力が上がっている。大阪でもそういうデータがある。そのことについてどうか。</p>	<p>少人数学級については、文科省が40人学級から2025年度までに35人学級にしていくとした。秋田や山形は少人数学級を導入して学力が高い、いじめも減ったというデータがある。秋田の場合は30人学級、山形は35人だが下限を20人としている。なぜかという、対話的学習を重視しているということがある。</p> <p>本市の子どもたちは基礎基本の学力は身につけているが、新しいことに挑戦する力や話し合いながら課題を追求していく力が弱い。一定規模の集団が必要と言っているのは、この力を育てるために18人程度は必要ではないかと考えるからである。今回の計画案ではそのことを踏まえて人数設定を考えている。</p>
<p>一番大きな学校、グループの中に入っていくのは、同調圧力があり非常に危険だと思う。私の子どもたちは小松島小学校で27人学級で1クラス、幼稚園からずっと学校生活を送った。それで何も問題はなかったし、今でも仲が良い。少人数で担任が良く見てくれる方がいい。</p>	<p>小松島の現状を見据えて、今後どうすればよいのか検討してきた。意見聴取会もして、直接、保護者世代の方のお話も伺った。その中で、「早く新しいきれいな学校にしてほしい」という声が多くあった。アンケート結果でも多くの方に理解いただいていると思っている。できるだけ早く子どもたちにより環境で教育を受けさせたいという思いで取り組んでいる。</p>
<p>児安小、和田島小学校が単独で残るのはなぜか。</p>	<p>保護者の意見、アンケートから、再編で最も重要視してほしいのは通学、通学の安全性という答えがいちばん多かった。そこで、通学面を考慮した結果、児安と和田島を残すことになった。徒歩で通える児童が最も多い組み合わせが南小、新開小、児安小、和田島小である。今回、財政面を考慮して、当面北小松島小学校を存続して、段階的に再編を進め、令和15年度に5校とする計画とした。</p>
<p>徒歩で通えるとのことだが、たくさん子どもたちで教育したいと言っていたのに、児安と和田島が残ることが分からない。津波を考えると、安全なところに学校をつくってほしい。私の子どもも南校に行くことになるが、とても心配。心配がないといえるところにつくってほしい。何かあったとき、550人も子どもがいて対応できるのか。安全は保障できるのか。</p>	<p>東日本のような大地震、津波がきたときは、小松島全域が浸水する。今度建設する学校は地震や津波に強いものをつくらなければならないと考えている。津波に関しては、南中学校のように1階をピロティにして、そこが浸水しても子どもたちには影響のない構造にする。小松島は地盤が弱い、そこもしっかり強化する工事をしていく。子どもの命を守ることを一番に考えるとともに、地域の避難所としても最大限の安全性を確保する建物にしていく。</p>
<p>安全な建物をつくると言われても本当に大丈夫なのかと思う。私の周りにも再編はしかたないという人がいるが、それではダメだと思うので、もっと話を聞いてほしい。</p>	<p>今より災害に強い建物、新しい学校を建てる。子どもを守るためにしっかりとしたもの、学校にいる間は安全が担保できる建物をつくっていく。</p>
<p>和田島は再編後も今と変わらず6学級だが、南校は18学級になって今と状況が変わる。そのことについてどうなのか。</p>	<p>シミュレーションでは、和田島小、児安小は1学年1学級で6学級、南小は1学年3学級で18学級として示している。将来、児童人口が減少していくと、さらに再編について考えていかなければならない。見直し期間を設けているが、人口の減少がさらに進むようであれば、その時期を待たずに再編をすることもある。</p>
<p>学童はどうなるのか。</p>	<p>学童保育クラブについては、今後利用が多くなると考えている。安全性を考えて、学校の敷地内に建設、若しくは区画を設けて建設することを考えている。ただし、運営については、今の学童の運営委員会等で、今の施設を使うのか、新しいところに集約するのかなどについては、協議させていただきたいと思う。</p>
<p>南校に学童ができる子どもを迎えて車が増える。休みの日は遠くから送ることになる。保護者の思いはいろいろあると思う。</p>	<p>学童については、様々なことが考えられるので、そのことを踏まえ、協力していきたい。担当にこのことは伝え、学童の適切な運営が図れるよう、運営・保護者の皆さんと話し合っていきたいのでよろしくお願ひしたい。</p>

【記入用紙にいただいた意見】(小松島小学校)

○まちづくり協議会の充実

・オール市役所で・各地域の市職員の参加も

公共施設等再編計画との連携

・個別計画と各学校施設との再編

立地適正化計画での位置付け

・新小学校を立適エリアの中心に・30年後、50年後には学校や公共施設をまちの中心に

○ネガティブな意見も多いとは思いますが、市の今後のためにも、子どものためにも早い再編が必要だと思う。

○学校がなくなった町がさびれたゴースタウンのようにならないよう、皆でアイデアを出してより良い町づくりをお願いしたい。

○跡地利用案で松小が中央会館等に計画されていること示してくれてよかったが、同時に本当に松小はなくなるんだなとさみしくも思った。しかし、児童のために考えたら、大海で育つのが一番。地域住民にとって一番納得する案で終わることを願っています。公民館とも連携した施設になることも期待しています。

○ぜひご意見をいただいた内容を考えていただければと思う。

○非常に残念な説明会だった。5校でなく平均的な児童数の再編を見直していただきたい。

○小松島小学校150周年記念における教育委員会内に担当部局、担当職員が必要です。よろしくお願いします。

令和3年度 学校再編に係る住民説明会 意見要旨

日 時: 令和3年10月8日(金)

場 所: 南小松島小学校

参加者: 30名

職 員: 中山市長、三宅副市長、小野寺教育長、勢井副教育長、
 築原教育政策課長、稼勢学校再編準備室室長、河口学校再編準備室係長、
 曾我部学校課長、大島生涯学習課長

- 内 容: 1.開会
 2.市長あいさつ
 3.職員紹介
 4.配布資料確認
 5.説明
 6.質疑・応答(意見交換)
 7.閉会

意 見	回 答
<p>私の息子は、今、南小松島小学校の1年生で、新しい学校に入れないまま終わる。残念。未来の子どもたちも大事だが、今、通っている子どものことも考えてほしい。校舎建築期間中、学習等に支障が生じないよう配慮とあるが、具体的にどんな配慮をいただけるのか。運動場に建てるのなら、体育や運動会、休み時間はどうなるのだろうか、工事中の騒音があって授業はどうなのだろうと思う。</p>	<p>校舎建築の際には、基本設計で校舎の配置を決めていく。現在のところ、どこに建てるかは決まっていないので、運動場側に建てるのか、今ある校舎側に建てるのか、また、決まったら、ご報告させていただく。仮に、運動場側に建てることになった場合は、工事区画と学習する区画とを分けて工事をする。また、工事中は運動場が使えなくなるという心配もあると思うが、その期間中は、体育館を使用する、近隣の学校に協力を求めていくといった形で対応していく。</p> <p>少し前から、各学校を一斉にというわけにはいかないが、500万円の予算をかけて、改修を行っているし、今後も続けていく。窓が開かないなど早くしなければならぬものからやっていく。工事期間中の配慮については、できるだけ、騒音防止、塵防止のシートやパネルを周囲にかけて、気が散らない対策をして工事を進めていくのでよろしくお願ひしたい。</p>
<p>櫛淵小学校は複式学級になっているのに、なぜ、新小松島小学校から進めていくのか。少ない人数の学校の方を先に統合すればよいのでは。</p> <p>この場所に学校を建てても大丈夫なのか。毎日、子どもの登下校時に安全パトロールとして車で回っている。そのときに思うのは、西門の道、ひかり保育園までの道が狭い。対向できない。いつ事故が起こるか分からない。再編で子どもや車も増えるとなると、交通面でとても心配。</p> <p>将来南海トラフ大地震がくる。有識者会議で、津波の来ないバイパスの近く、歩いて安全に登校できるとの意見があるし、市長の選挙公約の中に南海トラフ大地震に向け、被災者ゼロをめざすまちとある。果たして、ここに学校を建てて子どもが安全なのか教えてほしい。せつかく新しい学校を建てても子どもが被害に遭ってはならないので、そのへんの対策をどうするのか。</p>	<p>交通安全対策については、現在、西門だけが車の出入り口になっているが、新設校については北側も車の出入りができないか、そうすることで、ある程度、車が分散されるのではないかと考えている。保護者の送迎の車も増えることが予想されるので、1つの方策として、学校から少し離れた位置で子どもを降ろせるような場所など、まだ決まったわけではないが、できるだけ交通渋滞を起こさない方策を考えていく。</p> <p>防災面については、新たに建てる校舎は当然災害に強い校舎、防災面を考えた校舎になる。南中のような1階部分をピロティにして、津波がきても2階以上にいれば災害からある程度逃れられる。災害に強い、耐えうる校舎を建設していく考えであり、また、建築が決まれば、報告させていただくので、ご理解賜りたい。</p>
<p>一定規模とは何人、クラスの人数は何人が子どもたちの教育によいと考えているのか。</p>	<p>報道もされているが、これまで40人学級だったのが2025年までに35人学級に編成がかわる。少人数学級にすると文科省が言っている。本市の考える一定規模の集団というのは、18名以上35名未満。18名というのは35人学級で2クラスになった場合の1クラスの人数。</p> <p>もう一つの視点は、全国学力学習状況調査を分析すると、対話的な学習が弱い。これは、ディスカッションやグループの活動で力をつけていく。そのために今回の再編では18から35。現実には試算すると、20人から25人くらいで推移していくのではないかと考えている。</p>

意見	回答
<p>学童の移転場所は決定しているのか。また、新小学校開校と同時に新しい学童も整備されるのか。</p>	<p>移転については、校舎を建設する際に仮設等が必要になる場合を想定している。また、今学童があるところに校舎を建てる場合も支障があるので移転を余儀なくされる。そのときは、学童関係者の方、保護者の方と協議をさせていただいて移転等についての考えをお示しさせていただく。</p> <p>これから、学童の利用が増えてくると考えられるので、それを見込んで、校舎を新設する場合には併設、利用する子どもが入れる規模の施設を建設する考えである。校舎建設が終わる時には、学童も運営を開始していくことになる。</p>
<p>昨年、プールが壊れて、プールの学習が十分できていない。新しい校舎ができるまで、プールは直してもらえないのか。</p> <p>新しい学校ができて交通面で整備をしていくと思うが、今の生徒数でも交通量が多くて、いつ事故が起こってもおかしくない状況。工事車両が入ってくるとますます危険。安全面について配慮してほしい。</p>	<p>プールについては、現状使えないということで、子どもたち、保護者の方にはご迷惑をおかけしている。今年は、近隣の民間の施設でモデル的に実施させていただいた。今後、学校の先生だけでなく民間の専門の方にもご協力いただく。今回のモデル事業をもとに次年度も水泳の授業を継続させていきたいと考えている。そのことを念頭に、校舎建設時に敷地内にプールを建設するという考えはもっていない。民間の方の力を借りて、安全に送迎をして、学習していきたいと考えているので、よろしくお願ひしたい。</p> <p>交通渋滞緩和に向けて、現在西門からの車両の出入りになっているが、北門からも出入りできるようにして分散させていく。校舎を建てる際に工事車両が出入りすることについては、これまで中学校の建設で経験している。建設資材を運び込むときに大きな車両が出入りすることになると思うが、それは夏休み期間中に行うなどして、子どもたちの生活に支障のないようにしていく。工事車両が出入りする際には、混雑しないよう進入時間をずらすなど、危険のないよう配慮していく。</p>
<p>プールのことで、民間の力を借りるというのが曖昧で分からなかったのだが、市営プールの券をいただいたのだが、そのことなのか。</p>	<p>市営プールの券については、プールが学校にあるときには、夏休みに保護者の方が当番をして開放している。それができないので、市営プールを活用していただけたらということで券をお渡ししている。先ほどの民間というのは、民間のスポーツ施設のインストラクターの力を借りて授業をしていく。</p>
<p>南小松島小、小松島小、千代小、芝田小が一つになって、北小松島小と見安小が残る理由は何か。</p>	<p>北小松島小学校は令和15年度時点で存続、見安小学校はそれ以降も存続という計画になっている。前計画では4校であった。その経緯は、保護者の方へのアンケートで「徒歩で通える」といった通学に関するものが多かった。そこで、徒歩で通える児童が多い組み合わせを考え、再編校の位置を南小松島小、見安小、新開小、和田島小とした。その後、見直しをし、北小松島小学校については、校舎が比較的新しいのでしばらく存続させること、新しく建設する学校の規模を抑えることから、再編時期をずらすという計画になっている。</p>
<p>千代校区で遠い子、論田に近い子はスクールバスを使うことになると思うが、いちばん遠い南小松島小に行くことになる。スクールバスに乗るのであれば、北小松島小学校や見安小学校に行き分けるのが望ましいのではないかと。それができないのはなぜなのか。例えば、今、小松島小学校は100人を超えている。北小や見安と同じくらいの人数で何年かいく。千代の神社の近くの子だと歩いて松小に行ける。私は、地図の円を見て、いびつに感じる。こうなった理由を分かりやすく明確にしてくれれば納得できる。歩いて行く人数が一番多いというのが地図からは感じられない。また、学校の人数のシミュレーションは、どんなデータをもとに試算したのか加えてくれると理解が深まると思う。</p>	<p>場所によって、お子さんが小さい間など、徒歩で行けない場合がある。今考えているのは、路線バス、JRを活用する。活用できないところについては、スクールバスを活用する。小松島市の北部の状況を見ると、市街化区域と市街化調整区域があり、市街化区域から市街化調整区域へ徒歩で通うのは難しい。市街化区域については、一定規模を保てるように再編を進める。北小松島小学校はそのなかに含まれるが、校舎がまだ使えることや渋滞の緩和として、しばらく存続する。施設を整備するときには、規模を見込まないといけないので、今の学校を統合した規模で考えている。通学区域については、現在も校区外申請があるが、新たに新しい学校へ行きたいというのを理由に付け加えるかどうかで対応していく。将来的には、児童数を見ながら通学区域について見直していくことになるので、よろしくお願ひしたい。児童人口については、住民基本台帳をもとに一定の方式で推定したものである。</p>
<p>小松島小学校が活用されない理由は？小松島小は人数が多いのに南小松島小学校に入るのはなぜか。これから再編に伴って学区の整備はされていくと思うが、もっと明確に説明できるものがあればよい。市街化区域のことも分かるし、和田島小学校のことも理解できるが、小松島小学校は比較的大きいのにどうして再編されるのか。</p>	<p>小松島小学校と南小松島小学校の距離が近い、歩いてこられる方が多い。北小松島小学校の一部は歩いて来られるが、一部は難しい。千代小学校は児童人口の減少と施設の老朽化がある。そういったことを総合的にとらえ、再編を考えている。芝田小学校も児童人口の減少や老朽化がある。どちらの学校が近いかという問題はあるが、通学区についてはこれから見直しもしていくので、よろしくお願ひしたい。</p>

意見	回答
	<p>今回の学校再編は、いわゆる合併ではなく、新しく小松島に4つの学校をつくる。これからの教育の在り方を考えるなかで、4つの学校をつくる場合にどの組み合わせがよいか、どの場所がいちばん望ましいかということを検討したということ。</p> <p>松中校区の中で、市街化区域の中で一番いい場所はどこか、都市計画上の在り方も踏まえると、本校か南校かの位置になるだろう。次に、そのどちらかでどちらが望ましいかという、徒歩で通学ができるだけ多くできる場所ということ。</p> <p>あとは、交通支援。バス。小松島小学校は進入する道路が狭く、これから広げることも難しい。</p> <p>それから、通学支援の数が少ないということで、南小松島小学校になった。</p> <p>小松島小学校は小松島で最初にできた学校。地域の方からなぜなくすのかという意見があると聞いている。そのお気持ちも重々分かるが、今後の小松島のなかで人口がどのようになるか考えれば、南校は金磯まで約3kmあり、そこからも通ってきている。市街化区域の中心を考えたとき、やはり南校になる。</p> <p>そういうことで、学校を残す、残さないではなくて、これからの新しい学校はどこにあればいいかという視点で捉えていただきたい。</p>
<p>8月31日、朝7時20分から8時までの40分間、車の量をカウントした。場所は、松高のグラウンドの端、交差点の所。この日は、火曜日、夏休み明け。この道路は、7時30分から8時30分まで大型車両の通行禁止、ただしバスは通る。</p> <p>北行きの車が282台、南行きの車が133台、合計415台。1分間に10台、6秒に1台通る。かなりの量。ちなみに歩いていた数は、男の子34名、女の子42名、合計76名。中学生が通ることもあるので、子どもは100名くらいが通る。</p> <p>スクールゾーンや一方通行にする案はいかがか。コストがかからずできるのではないか。また、交通指導員を増やすことも必要ではないか。</p>	<p>南校西側から芝生川へかけての道が狭いというのは、前々から小松島市の問題としてある。ただ、両側に家が多く建て込んでおり、これを拡張していくのはなかなか容易ではないということで、具体的に進んでいない状況。</p> <p>児童の通学の安全を図る1つは、通学路安全推進協議会。これは、道路管理者や警察など関係者が毎年集まって子どもの安全な通行を検討しているが、一方通行などの踏み込んだ対策には至っていない現状である。再編後は多くのお子さんが通ってくることになるので、改めて検討していかなければならないと考えている。</p> <p>もう一つは、北側の県道からも出入りすることとあわせて、南海トラフ地震に備えて、校舎の1階部分をピロティにすることを考えている。通学時に保護者の方がお子さんを送ってくる場合、どこか手前で降りしていただいて安全に学校まで通ってくるというのも一つの方法だし、どうしても学校敷地まで入ってくる場合は、ピロティ構造なので校舎の下に車が通れるような空間ができる。そういったことで、車がうまく出入りできるような校舎にしていきたい。</p> <p>南校の西側道路については、最重要事項として考えていくが、すぐにできるといった状況ではないので、どんな方法がいいのか検討していきたい。</p>
<p>通学支援で1.8kmとっているが、道はまっすぐではないので、実際40分歩くケースも出てくる。危険は車だけではなく、ブロック塀や水路がある。そこを30分歩く。体力のついてきた4年生ならいいが、1・2・3年生も行き帰り歩く。それに対する配慮、考え方、安全対策をどうするのか。やはり、南校の西側の対応をどうするのがテストケースになると思うがどうか。</p>	<p>開校までに決めなければならないことは、学校再編準備委員会を設ける。その中に通学部会があり、通学体制に関することや新たな通学路を指定する、通学支援でスクールバスを使うのか、JRを使うのかといった具体的な内容を決めていくことになる。</p> <p>地図で1.8kmをお示ししているが、どこが1.8kmの位置となるのか実際に歩いて、どのあたりが適当か具体的に決めていきたいと考えている。それが決まったらその学校に通学される方には説明させていただく。通学部会の中には、PTA関係者の方々にも入っていただく予定にしておき、ご協力いただけたらと思うので、よろしく願いたい。</p>
<p>授業中に工事をするのか。騒音対策はどのように。授業に支障はないのか。</p>	<p>工事中は防音シートやパネルを張ってできるだけ配慮はしていく。騒音の対策について十分していくが、お子さんによっては、そういったことに敏感なこともあるので、工事が始まる前に十分保護者の方と話をしたり、配慮したりしていきたい。</p> <p>また、近隣の市町村で、学校敷地内に学校運営をしながら学校を建てたということもあるので、そちらでどういった状況であったかを十分に聞き取って、できるだけ配慮、対応していきたいと考えているのでよろしく願いたい。</p>

意見	回答
<p>検討してもらおうということでお願いしたい。先ほどから言っている南小松島田野線で交通立哨を私たち社協と一緒にしているが、将来再編されると、ますます重要になってくると思う。担当は市民生活課になるが、交通指導員さんが市内で6人くらいいると思うが、立ってくれる人がいない。それで、校長先生がお願いして水曜日だけ立っている方もいるが、それでは不十分なので、ぜひとも専門に立っていただけの方を。市長さんに言えば早くできるのではないかと思うので、よろしくお願いしたい。</p> <p>それと、交通安全対策の答えて、北の正門から出入りするということだったが、あそこは松の木がある。あれを切るということか？それはできないと思う。そのことを考えて対応してほしい。</p> <p style="text-align: right;">(意見のみ)</p>	

【記入用紙にいただいた意見】(南小松島小学校)

○スケジュール通り再編が進むことを願っております。

○小松島小学校の南小松島小学校への再編理由が距離が近いでは。千代と小松島小と再編したのち、2030年代後半から順次再編の方が一定規模での教育に沿っているのでは？

再編した後の人件費等の削減が必要であれば現状と再編の比較データ(経費)を出してほしい。その費用の削減と教育費の増額が見込めれば新小学校2つと和田島の3校でもよいのでは？

交通安全は①完全スクールバス(保護者の送迎禁止)②保護者の送迎を許可制③小松島署と連携(小学校数が少なくなれば可能)

○説明は分かりやすかった。

複式学級がすでにある小松島南中地区から再編しないのはなぜか。

新小松島小は24億・466人、新小松島南小は22億・247人、コストの検討が必要。

○参加の方々が、とてもこの学校再編に関心があり、深く考え質問されていることにとても感心した。

南校の大切な正門の松はどうなるのか。

IV-①-3留意事項に通学支援のバス、JR、スクールバスとあったが、JR汽車を使うのか？

○質問に対して、検討中などが多いように感じた。検討中でも、具体的に何を検討中なのかを教えてほしかった。

○北門の松の存続について、切るのか、移植するのか。

より質の高い教育とは、どの基準をめざしているのか。

フェンス工事時に西門の入口をなぜ広くとらなかったのか。

○学校施設の老朽化が心配。津波がきた時や地震の時、R9年までにできるのか。

新しい学校にプールはつくらないと言うが、OKプールに4日しか行かないのに泳げるようになるのか。新しい学校にも屋根付きのプールがほしい。

学童について、学校内につくった時に南校では4学童、その他も1学童ずつあり、7学童もの部屋を用意してくれるのか。運動場に校舎をたてるとした時、運動会、体育はどうなるのか。

一番には早く新しい学校をたててほしい!今の学校の教室のかぎは木の棒を下においてつっぱりにする学校はどうかと思う。

○松小出身だが、私が卒業するとき、最後の校舎ということであったのに、それから1、2年してから工事が始まったような気がするので、計画通りになればと思う。

○交通安全には特に気を配っていただきたい。

学童の施設がどうなるかが不安。具体的に決まる前に案内をしていただきたい。

意見交換がたくさんできてよかった。

○説明より、質疑応答が行政説明で、解答がはっきりしないのが再編していくに関し、不安を覚えた。

学童に関して、R9年度では250名程度利用が見込まれるため、40人1部屋と考えると7部屋必要。それをふまえ、学童、行政と協議を行えるようお願いいたします。

○新小松島小学校の開校と同時に、学童保育クラブも開所できるよう施設を設置するとのことでしたが、プレハブ等の一時期を経て、専用施設を新たに建設するということでしょうか？

また、専用施設として、今ある第3学童の建物は建て変えるということは可能性はありますでしょうか？現時点では、具体的な計画は白紙の状態からということか、ある程度大まかな計画があるのか知りたい。

できるだけ早く、学童の保護者や運営委員会への聞き取り等してほしい。

また、建設中、学童への児童の登所時が安全に行えるよう配慮をお願いしたい。

令和3年度 学校再編に係る住民説明会 意見要旨

日 時:令和3年10月13日(水)

場 所:北小松島小学校

参加者:13名

職 員:中山市長、三宅副市長、小野寺教育長、勢井副教育長、
 築原教育政策課長、稼勢学校再編準備室室長、河口学校再編準備室係長、
 曾我部学校課長、大島生涯学習課長

- 内 容:1.開 会
 2.市長あいさつ
 3.職員紹介
 4.配布資料確認
 5.説明
 6.質疑・応答(意見交換)
 7.閉会

意 見	回 答
<p>児童数のデータのもととは何か。児童数が減ってきているということ は小松島市の人口が減ってきているということ。人口増の施策を反 映させたものなのか。</p>	<p>児童数の推移については、教育委員会でシミュレーションしたも の。もとになっているのは住民基本台帳の人口データで平成24年 から平成29年9月30日現在の5才刻みの人口を使用し、それ以降 に市内の小学校に通う児童数を算出した。今現在通っている児童の 割合を乗じてそれぞれの学校に割り当てたものになっている。現在の 減少率をもとに算出したもので、施策を改めて反映させたものには なっていないので、ご理解賜りたい。</p>
<p>私は学校再編に賛成。5つ思ったことを言わせてもらいたい。その うち2つに回答をもらいたい。</p> <p>①私は千代出身だが、こちらに家を構え、子どもはこの学校へ通い、 PTA活動を地域の方とやらせていただいたし、中学校でもさせてい いただいた。松中へ上がった時に感じたことは、小松島中学校は6つの 小学校が集まる。1クラスの小学校から大きな学校へ行ったときに、 子どもも親もいろいろ戸惑いがあった。やはり、1クラスよ り複数クラスが必要であると思うので、学校再編に賛成している。</p> <p>②これは、質問。今回の見直しで、4校から5校になった。北校が残 ったのはなぜなのか。校舎が新しいのなら松小も。千代は中田、八幡さ んの辺りは土地が高い。東日本大震災のときには、全ての市営バス がここに移動したと聞いている。そうした中で、なぜ、北校になったの か伺いたい。</p> <p>③跡地利用について、生涯学習や社会教育の拠点としてぜひ活用 してほしい。自主防災活動や老人会、婦人会の活動場所がなかなか なくて困っていると聞いたことがあるので、その拠点として学校を活 用していただけるとありがたい。それについては、まちづくり協議会を 立ち上げて、地域住民といっしょに考えていくとある。北校校区には、 中田地区、北浜地区、元根井地区、新港地区と4つの地区がある。 できることなら、この地区からの代表意見をまちづくり協議会では取 り入れていただけるとありがたい。</p> <p>④学校再編とは違うかもしれないが、11公民館は今のまま存続する という考えていいのか。</p> <p>⑤今回のような行政の説明会に市長が来て意見を聴いてくれるの はありがたい。私も、仕事上、いろんな説明会に出たことがあるが、 市長さんが来て住民の生の声を聞いていただけることは本当に頼も しく、ありがたいと思っている。</p>	<p>②北小松島小学校については、比較的、校舎が新しいということで 残るという結論になったが、先ほどおっしゃられたように、小松島小学 校についても校舎は新しいということをご承知のとおり。ただ、小松 島小学校は、南小松島小学校へ通学する際、ほとんど全ての児童が 徒歩で行ける、徒歩で通学できる範囲内にある。北小松島小学校 は、若干距離が長い児童がいて、通学支援を必要となる可能性がある。 中長期的な視点で、どこか1校再編時期をずらすということにな ると、北小松島小学校が校舎の築年数が新しいことと、通学支援と の両方で考えて、当面の間、存続ということにさせていただいた。</p> <p>④公民館については、現時点では、再編とは別に、11カ所の公民館 を存続させる方向で考えている。ただ、いつまでということについて は決まっていないが、再編の考え方と別に11公民館を存続させる考 えである。</p>

意見	回答
<p>小松島小学校跡を認定こども園化するのには良い案だと思う。ただ、それプラス、学童保育の受け入れ先としても、新しいし、運動場もあるし、使ってほしいと思う。市内の児童をそこに一斉に集めれば、今回のパワポにもあった多様な集団との関わりが狙えると思う。</p> <p>ただ、中央公民館を入れることに関しては反対。実際、北小松島公民館は使われていない状態。使っているところをあまり見たことがない。中央会館でやっていることは公民館でもできる。小松島小学校は、子どものためだけに使うべきではないかと思う。</p>	<p>本市では、就学前の教育の在り方について、最終的にはすべて認定こども園にしていく方針を打ち出している。今回、南小松島幼稚園については、小学校の再編を機会に認定こども園化していこうと考えている。</p> <p>北小松島公民館等は地区公民館として地域の方々に現状利用していただいているし、北小松島公民館の利用の報告も受けている。中央会館は、それ以外に全市的な所からと、文化と芸術、地域にはないものを進めるための拠点としている。中央会館はかなり老朽化しており、3階建てだが、利用者から「エレベーターを」という声も聞いている。小松島小学校は、最初の段階からエレベーターが設置できる設計になっているので、学校以外の利活用についても考えていく中で、中央会館として、地域の公共施設の利用を図っていく。これは、提案であるので、地域と話し合っていくことになる。まちづくり協議会で諮っていくことになるので、よろしく願いたい。</p>
<p>北校が残ったのはうれしいが、手放して喜べないのが今の現状。「見直し期間を経て」とはあるが、再編ありき。経済面や教室の数でこうなったのかとがっかりしている。</p> <p>あと、学童について。学童は学校の敷地にあるのが望ましい。学校から帰るのが危ない、そこまで迎えに行く支援員を増やさなければならぬという点に関しては、新しい学校の中に学童を建ててくれるのはありがたいが、今、それぞれの学童に運営委員会がある。地域の方が役員をしてくださっている。それがどうなるのが不安。地域や学校が関わらないと出ない補助金があるので困る。もう少し、学童についても入れてほしい。</p> <p>あと、10年間このままであるなら、プールを直していただきたい。何十億もかからない、前に聞いたところだと6,000万くらいで直る、全面改装しても。ぜひしてほしい。</p>	<p>新しい施設を建設する際には、学童のことも必要になってくるので、専用区画であったり、併設するなど考えている。学童保育クラブは、それぞれの地域で運営委員会を立ち上げて運営されている。その方々の声も十分聞いて、今ある施設を活用したいなら使っていたとしても思っている。基本的には、地域の方々と保護者の皆さんと一緒にやっていただいているが、課題もある。それを解決できるような形で組織を強化して、市として協力させていただく。</p> <p>プールについては、現状、市営プールへ行っていただいている。今年度、南小松島小学校もプールが壊れているが、モデル的に、徳島市の民間施設をお借りして水泳事業をやっている。県教委でも、学校の教育について学校の先生だけでなく、それぞれの分野の方にも携わっていただくことが望ましいということで、本市も特にスポーツのインストラクターの派遣や南小松島小のように施設を借りて水泳をすることを進めていきたい。北小松島小学校でもそれを踏まえて、水泳学習ができればと考えているのでよろしく願いたい。</p> <p>北小松島小学校の学童保育は、非常に市内でも活発に運営していただいていることに感謝申し上げたい。ぜひ、その活動内容を紹介していただき、北小松島小学校学童のノウハウ、タスクフォースのような運営委員会も紹介いただいて各学童の底上げをしてほしいと思っている。</p> <p>再編ありきという話ではない。小松島市の人口については非常に大きな問題であると認識している。一時期43,000人余りの人口がいたが、36,505人と大きく減少している。これは、高齢化で自然減はいたしかたないが、まずは人口減少に歯止めをかけなくてはならない。日々、全庁一丸となって考えている。1つ例を挙げると、今回の学校再編は大きなチャンス。よりよい教育、環境整備をすることによって、子育て世代の人が学校が古いという理由で市外へ移られる、それをなんとかしたい。他の市町からうらやましがられる施設をつくって、質の高い教育をしていくことによって、小松島市で教育を受けさせたいと思っただけのような学校をつくりたい。アンケートでも、小松島市は遊ぶところがない、子育て世代の居場所づくり、子どもを連れて行けるところをつくっていきたくて考えている。人口減少に歯止めをかけ、ひょっとしたら、北小松島小学校区に人が増えて、15年の見直しの時には、立派な校舎に建てかえて大きな校舎にしなければいけないというような学校、まちになるように、しっかりと頑張りたいと思うので、皆様のご協力をお願いしたい。</p>
<p>新小松島小学校の工事の計画についてお伺いしたい。令和6年から着手予定の工事については同じ場所に校舎を建てて3階にするのか、新たな場所で新築するのか、どちらになるのか教えてほしい。</p> <p>また、それに伴った転校スケジュールを教えてください。</p>	<p>工事については、現在の南小松島小学校の敷地内に校舎を新築する方向で考えている。校舎の位置に関しては、基本設計をしていく中で配置について考えていく。運動場側に建てるのか、現在の校舎のところに建てるのか、これから決めていくことになる。</p> <p>開校については、令和9年になっているので、ここで、小松島小学校や千代小学校、芝田小学校の児童がこの時点で一気に新小松島小学校に通っていただくという計画を立てている。開校と同時に転校というイメージを持っていただけたらと思う。</p>

意見	回答
<p>生徒数の推移だが、0.47をかけると20年後が出てくる。なんで一律に0.47をかけているのか。地域差があるので誤差が出てこないといけない。地域によっては高齢化が進むので0.3になったり、0.6だったりするところがある。</p> <p>教育の質、グローバル化など、児童生徒に養う力として、子どもに対してこうするということはあるが、先生に対しても質を求めていかないと。小中連携ということになれば、教育委員会としての方針は今後どうなるのか。</p>	<p>学校再編には、教員の質を高めるという意味合いもある。それは、どうしてかという、学校が小規模化していくと、学校の教員数は決まっているので、どんどん減っていく。教員免許更新制がなくなって、文科省は、教員同士の研修を深める体制をつくりなさいと。そうすると、ある程度の教員数がなければ、お互い教え合ったり教材を共有したりすることができない。再編で教員数が増える、先生同士の質を高めるということがしやすくなる。</p> <p>もう一つは、今11小学校がある。11の学校の教務主任さんを集めていろんなことを統一していくことは難しい。今回の案では、小松島中学校区と南中学校区、その学校のなかで先生同士が共通理解を図れるようなシステムを構築し、そこで先生の質を高めていこうと考えている。</p> <p>人口のシミュレーションの算出方法だが、手法については、コーホート変化率法を用いている。まずは、全体の児童数を算出して、それぞれの学校ごとの割合を出して、それをかけて、人数を算出している。率としては、どの学校についても同じものを用いている。おっしゃる通り、地域によっては人口が減っているところ、増えているところがあるが、そういったことを加味した算出方法はとっていないので、よろしくご理解賜りたい。</p>
<p>再編をするにあたって、有識者会議が開かれている。錚々たるメンバーで3回くらいだが、出てきた報告書が2ページでびっくりした。今回再編を検討する際に、有識者会議の報告をどのくらい取り入れたのか。ある市議員が、有識者会議の意見をもっと反映させてみてはどうかみたいなことを議会でおっしゃったというのを聞いた記憶があるのだが、どのくらい参考にされたのか。</p> <p>再編の話とは違うが、再編のお知らせというのが8月22日に徳島新聞に説明会の開催が変更になったと出ていた。それで8月24日の広報こまつしまに古い日程が載っていた。この1週間後の31日に延期になった方が広報こまつしまに載っていた。小松島市役所内の連携がとれていないのかなと思った。</p>	<p>有識者から、前回の計画では2030年までに11校を4校にする案だったが、中長期的な視点で学校再編の在り方を検討した方がよいのではないかとご意見をいただいた。そこで、今回についてはもう少し長期的に見た形で見直した。より実現性が高くなったと考えている。それと、北小松島小学校については当面存続をするという方針を示したが、それについても、耐用年数に余裕のある校舎については統合の時期をずらすことで一気にマンモス校になることを防ぐことができる、建設する校舎規模を抑えることができるといったご意見をいただいたので、見直しの際に取り入れた。それ以外にもまちづくりに関する、防災面で校舎建設時に留意する点についてなど、全てを計画に反映させることはできなかったが、校舎建設時などに参考になるものを取り入れていきたいと考えている。</p> <p>広報については、締切があり、印刷にかかっているときに住民説明会の日程が変わったということもあり、どうしても間に合わなかった。いろいろ混乱させてしまったことについてはお詫び申し上げたい。</p>
<p>それだったら、そのまま載せるのではなくて、中止とか延期とか一文を載せるとかできないか。新聞は前日の12時ぐらいまでは変更できるのではないか。こまつしま広報については変更できないのかもしれないが、混乱が起きると思う。見ている人はそう思う。</p>	<p>徳島新聞については、我々としても変更したいとお願いましたが、締切の後ということで変更がかなわなかった。申し訳ないがご理解いただけたらと思う。</p>
<p>放課後デイサービスの施設長をやらせてもらっている。今、通級の子が増えているのが現状。各小学校にもすぐく人数がいると思う。一人一人のニーズに応えるのは無理かもしれないが、対人関係が無理だったり、たくさんいるところではパニックを起こすという子もいる。そういった子に対して、再編して大人数になったとき、教室を設けて対応できるようにお願いしたい。それと、専門の先生を置いてほしい。</p>	<p>特別支援学級に在籍しているお子さんは増えてきている。新小学校を建設する際には、特別支援学級担任やみなと学園の意見を参考にしながら、教室の配置やどのように教室をつくっていけばよいのかというようなことを検討していきたいと考えている。専門の先生については、みなと学園や阿南支援学校といった県立学校の先生が交流で来られるといった制度がある。また、小松島市に特別支援教育部会があり、そこで、みなと学園へ行って研修を受けたり、研修を受けて支援学校の教員免許をとったりなどしているの、対応していきたいと考えている。</p>

意見	回答
<p>学校間の事前交流を行うとあるが、具体的にどういうことをしているのか。今現在は、例えば北校と本校とで何かしているというのではないと思う。私が、小学校の時もそういったのはなかった。どうして一部の小学校だけでもやってこなかったのか。やっていれば友達ができよかったですのではないかなと思う。今やっていない理由と、これからどうしていくのか教えてほしい。</p> <p>あと、違う話になるが、以前、小松島中学校で説明会をしたときに、しおかぜ公園の整備をお願いしますという話をさせていただいたが、あまり整備が進んでいない。特にトイレが汚いと思うので、早くきれいにしていただけると子どもを連れて行けるので、お願いしたい。</p>	<p>今現在、学校間の交流については、立江小学校と櫛淵小学校と一緒に修学旅行に行くといった交流があるが、他の学校に関しては、数が多いというのもあって、日程を調整したり、距離が離れていたりということで、なかなか実現していない。中学校に進学する際に、小松島中学校区、小松島南中学校区の6年生が集まって合同学習集会というものをしている。今のところ、特にこの学校とこの学校がしているといったことが残念ながらできていない。</p> <p>ただし、再編で学校数が少なくなれば、小学校間の交流がやりやすくなるので、計画的に取り入れてやっていきたいと考えている。再編前には、子どもたちにとって、学校が変わる、環境が変わる、いろいろ不安になることがあるので、どこかの学校に集まって一緒に学習するとか、もう少しズームやリモートの環境が整ってくると思うので、そういった授業で、同じ学年の子どもたちが顔見知りになったり、友達・仲間になったりといった取り組みを積極的にしていきたいと考えている。</p> <p>しおかぜ公園自体は県の設備だが、SL広場からたぬき公園、本市の重要な施設のひとつであると考えている。本年度、SL広場、たぬき公園、図書館にWi-Fiを整備し、本年度中にいつでも使えるように整備する予定。来年度以降も見直しをかけていき、これから計画をつくっていくので、少し時間はかかるかもしれないが、必ずや、子どもを連れて遊べる場所をつくっていききたいと考えている。</p> <p>しおかぜ公園のトイレは、私もよく利用するが、結構きれいに使っているのではないかなと思うが、そこはしっかりと考えていきたい。先日、中央会館で芸術祭があり、子どもたちの作品も展示されていた。コロナ禍でこういったことは非常に大事。この体育館でも各学校の金管バンドが一堂に会して発表会をしている。各学校のクラブ活動だけにとどまらず、芸術や文化の交流を教育委員会としっかり連携してやっていきたいと考えているので、よろしくお願いしたい。</p>
<p>現在の小松島市の小学校の現状というところで、課題ということで、全国学力学習状況調査の結果で相互間における問題解決力の不足の原因として児童数の減少があるのではないかとあった。生徒数が増えることで、こういった問題が解決するのか、また、先生方はどんな対応をしているのか。今後の展望などはあるのか。</p>	<p>子どもの数が減ってくると、教育内容、教育方法に制限が出てくる。簡単な話をすると、バレーボール競技をしようとしてもできない、ある程度の集団は必要になってくる。だから、今回の学校再編はそういった教育内容についての制限をなくしていきたい。</p> <p>今少なくなっている学校は地域の方に協力してもらって別な形で同じような体験ができるものを行事や総合的な学習の時間にするなど、各学校で考えている。各教科、総合的な学習の時間、特別活動など体験的なものが使える場合は、今言った地域や他の学校との交流などいろいろやり方はあるが、できていない部分を補う。</p> <p>しかし、一番は実際に子どもたち同士で体得できるのが理想だと思っている。再編をするのが、子どもたちにとってよりよい教育ではないかと考えている。</p>

意見	回答
<p>見直し期間が令和15年からとあるが、その見直しの目安を何点か挙げてほしい。新小学校の完成が近づくとそちらに生徒さんが流れることもあるだろうし、北校が残ることになったので、千代から卒業までは同じ学校でとって北校の人数が増えるかもしれない。就学前の方に毎年アンケートをとって動向を見て、見直しの材料としてほしい。</p> <p>建設費だが、北が24億、南が22億。建設後、40年経つと財政的なものはどうなのか。委員会の実録を読ませていただくと、津波が来て、タンカーが流されてきた。そのために、外壁を強化しよう。そうになると、建設費はおさまるかもしれないが、周辺にかなりの予算を組むことになる。40年後、除却になったときにその予算、財源はどうか。</p>	<p>見直し期間についてだが、将来に向けて予測が不可能なこともある。児童数の推移や児童がどちらの学校に行くかなどについては、予想を超えることがあるかもしれない。そういったことで、見直し期間を設けて、その時点の児童数や社会情勢を反映させる形で見直しをしていく。そのなかで、将来学校再編をどのような形で進めていくかも見直していく。そのときには、当然、就学前を含めた、子育て世代の意向を調査するということがアンケートを実施して、さまざまな意見が反映されるよう考えていきたい。</p> <p>新小松島小学校で24億。これから考えていかなければならない要素もあるので、このとおりの金額になるかどうかは分からない。ただ、有識者会議のご指摘でもあったように、子どもたちが安全、安心な環境で学べるようなものをつくらなければならない。そういうことで、65億、本市が今現在なんとか耐えうる財政負担ということを出させていただいている。</p> <p>それから、40年後、施設がもう一度建て替えとなったときにどうかというご意見については、なかなか先までの財政計画については、今の時点では見にくいところ。ただ、一つ考えるのは、人口推計。それで、40年後には本市の人口は2万人くらいになる。今現在人口ビジョンをもっていろいろしているが、今後社会がどうなっていくか、学校のことも絶えず見直しながらやっていくしかない。公共施設の総合管理計画の中で、必要な時期に長寿命化ということで、前もってある程度のお金を入れて施設の延命化を図っていくという計画もある。それで、できれば60年くらい、できるだけ長く安全に使えるようにしたいと考えている。</p>
<p>希望だが、再編によって魅力ある学校にしてほしい。小松島市の職員の半数が市外に住んでいる。せめて、この人達が小松島市内の学校に通わせたいと思うような学校にしてほしいと思うので、よろしく願います。</p> <p>(意見のみ)</p>	

【記入用紙にいただいた意見】(北小松島小学校)

- 学校再編には賛成、計画どおり進めてほしい。再編後の施設の活用については、各地区住民を含めた「まちづくり協議会」を立ち上げて、生涯学習、社会教育の拠点として、防災活動、老人会や婦人会など各種団体の活動拠点として利活用をすすめてほしい。
- 小松島小学校を認定こども園化するのには良い案。それプラス、学童保育の受け入れ先としても利用してほしい。市内の児童が1カ所に集まることで「多様な集団との関わり」をねらえるのではないのでしょうか？小松島小学校はとても新しいので、活用すべき。
北小も南小みたいにプールの授業は「OK」「ハッピー」等のスイミングスクールでやってほしい。教員の能力も足りていない(プロに比べると)し、子どものためにもなる。プールの維持費等もうくので、全国的に主流になってきているのでは？
- 色々な課題等検討された上での計画であること理解しました。魅力ある教育の実現、それに併せて、就学前からの子育て支援施設についても、今後、更に充実して頂ければと思う。
- 前回の学校再編案からは現実的なものになったと思う。
子どもの数が減少し、再編されることはしかたがないが、防災や交通面を考えると、南小まで行くのはとても不安があったので北校が残ることについて嬉しく思っている。
北小、見安小が取り残されないようにしてほしい。
再編以前から「9年間を見通した教育」をお願いしたい。
「地域」を見直すためには、金長公園があった場所など、もっと整備しておくべき所もたくさんある。「地域」を見直すためには、金長公園があった場所など、もっと整備しておくべき所もたくさんある。
- 再々編はあるのか。24年後には児童数が1,473人→697人になる推測だとしたら5校→2校(単純に)に成るのか、見直しは？
新1年生の教育について。早生まれ、遅生まれ(満で言うなら7才行き、8才行き)について、特に遅生まれの子どもについての教育は考えていますか。
- 実施計画(案)の説明が、文章を読み上げるだけで心にひびかなかった。
- 質問時にも言ったが、再編時における教師の質、グローバル化に対応できる人材、外部を含めて活用していただければと思う。

令和3年度 学校再編に係る住民説明会 意見要旨

日 時:令和3年10月14日(木)

場 所:千代小学校

参加者:22名

職 員:中山市長、三宅副市長、小野寺教育長、勢井副教育長、
 築原教育政策課長、稼勢学校再編準備室室長、河口学校再編準備室係長、
 曾我部学校課長、大島生涯学習課長

- 内 容:1.開会
 2.市長あいさつ
 3.職員紹介
 4.配布資料確認
 5.説明
 6.質疑・応答(意見交換)
 7.閉会

意 見	回 答
<p>再編の方針とスケジュールのところで、通学支援とか、交通の利便性とか、敷地面積とかを考慮したとあるが、千代小学校の集まりの時に皆さんから意見が出ている中の1つに、千代小学校がいちばん古い歴史のある学校の1つということもあって、歴史をどう見ているのかというのが多い。歴史も考慮していただいていると思うので、こういった文章の中に明記していただきたい。そうでないと、千代小学校がなくなって、中田町民、その時代の人は何をしていたのかと、汚点になりかねない。歴史について把握して、文章に落としてほしい。</p> <p>では、具体的に何をというなかで、埋め立て地であるかないかとか。実際、私、神戸の阪神大震災を経験していて、ポートタワーやポートターミナルなど至る所で液状化していた。実際にここらは埋め立て地だが、埋め立て地かどうかなど歴史を考えて、文章化を求めたい。</p>	<p>それぞれの小学校には、地域の方に協力いただいて歴史や文化について学習する機会があると思う。再編される学校については、新たな学校に歴史を継承していくという方針で進めている。埋め立て地に関しては、小松島市はほぼすべてが浸水地域にあたる。どこに学校を新設しても、浸水地域や土砂災害警戒区域になる。その点に関して残念ながらどこが安全といえない。それを踏まえた上での再編計画となっているので、ご理解賜りたい。</p>
<p>前回の案そのまま、北校だけ後回して目先を変えただけのようにしか見えない。そのことについて、皆さんがどう思われているのかを知りたい。</p>	<p>前回の計画案は、11校を4校に2030年度までに再編するものであった。今回お示した計画案は、前回のものをベースにして見直すべきものについて変更させていただいた。前計画をベースにした考えというのは変わっていないので、その点ご理解賜りたい。</p>
<p>そのことについては分かったが、前回なぜこの案ができたのかとか、南校にすべて集めたいだけにしか見えないという意見だったりとか、いろいろあったと思う。そのあたりの話を聞いたうえで、再編計画が、北校が新しいから残して、耐用年数が過ぎたら南校、新しい学校へ行っちゃおうというのは…うまく言えないが。</p> <p>それとは別に、南校に合わせるにあたり、バスの事故とか道路での事故が多数あったと聞いている。そのあたりのことも聞きたい。</p>	<p>前計画の時に4校で示させていただいた。なぜ4校になったかを説明すると、再編で校区が広がることについての不安が保護者の方に多くあった。学校へは徒歩で通えるのが望ましいという声が多かったので、徒歩で通える児童が一番多い場所ということで、南小松島小学校、児安小学校、新開小学校、和田島小学校の組み合わせになり、決定した。これをベースにして、今回見直しをしたのは、南校に一気に生徒が集まると大きな校舎をつくらなければならない、これから児童数が減っていく中でマックスの状態では校舎を建築するとすぐに空き教室ができるという課題が生じてくる。北小松島小学校はもう少し校舎を使うことができるので、統合する時期をずらしていただく。そういった見直しになった。</p> <p>それから、南校の交通事情や事故の件に関しては、交通安全対策に取り組んでいくが、南校での説明会でも周辺道路が渋滞するという声もあった。今のところ、西門しか車の出入りができないが、北門からも車の出入りができるような校舎建設を考えていくので、ご理解賜りたい。</p>

意見	回答
<p>新たな場所で学校を建設する場合、用地取得が難しいとあるが、小松島はかなり人口が減ってきて空き家問題がかなりある。わざわざ津波の浸水地域に65億円かけて新設して、東北大震災の大川小学校みたいに逃げられないところに新設するのは、子どもを通わせる親として、いかがなものか。用地取得は時間をかければできるのではないか。できれば、バイパスより向こう、津波からより遠いところに学校を新設してほしい。文科省の答申でスクールバスを使って1時間以内なら構わないという2015年の答申が出ていると思うので、それも踏まえて、徒歩にこだわらず、津波も来ない、歴史ということも分かるが、違う視点で、南小松島小学校は安全と思えないので、考えてくれるといいのではないかと思う。</p>	<p>新たな場所で用地を取得することになると、少なくとも数年はかかる。今の市内小学校の状況を見ると、できるだけ早く再編を進めたい。校舎もかなり老朽化している。これから用地取得となると、相手のあることでもあるし、交渉が決裂すれば買収できないことになる。基本計画にもあったように、既存の学校敷地による学校建設ということで学校再編を進めていきたいと考えている。</p> <p>災害対策に関しては、新たに建てる校舎については、災害に強い校舎。これから設計していくことになるが、南中のように1階部分をピロティのような構造、災害に強い構造となるように考えているので、よろしく願いたい。</p>
<p>理念は分かるが、何が説明に抜けているか。いじめについて。小松島では、過去いじめが何件あったのか。いじめの多い学校はどこか教えてほしい。</p>	<p>今回の説明会では、残念ながらいじめのデータについては持ち合わせていない。</p>
<p>学校再編で生徒数が増えるということは、いじめが必ず増える。なのにどうして資料がないのか。</p>	<p>いじめについて、統計的なものはある。現在40人学級だが、その状態はやはり多い。だから、文部科学省も2025年までに35人学級をめざしている。本市の再編によって求める児童数、生徒数は18人以上から35人までの間で、20人前後くらいで推移するかなと考えている。</p>
<p>そうではなくて、小松島の実態を知りたい。</p>	<p>令和3年の4月から7月までのデータになるが、小学校で79、そのうち7月末時点で63件が解消、16件が解消に向けて取組中。中学校は78件で、7月末時点で62件が解消している、16件が解消に向けて取組中。</p>
<p>どこの学校がいちばん多いのか。</p>	<p>それは、データとして持ち合わせていない。</p>
<p>教育の理念は分かるが、必ず問題は起こる。私は、5校に減らすのではなく、モデル校みたいなものをつくって、例えば千代小学校や立江小学校。千代小学校でモデル校をして、その後で、いじめやバス通学の問題をクリアできるのではないか。実証実験してから、再編していけばよいのではないか。</p>	<p>先ほどの話に戻るが、本市のめざす児童数。なぜ10人やそれ以下を求めないのか。それは、どうしても教育内容や教育方法に制限が出てしまう。ゆえに18人以上の学級を求めたい。今、本市においていじめの件数、わりと多く出ている。でも、私は、出てくることは間違っていないと思っている。なぜかという、それは、先生方がいじめをしっかりと見てくれている。人と人が生活する上でトラブルが発生する、それを解消していく場所が学校。教育活動を良好にできる、質の高い教育ができるということと、いじめに対する対策は徹底してやっていきたいと考えている。</p>
<p>住みよい小松島には人口を増やすことが大事。学校再編が一番最後にする事業ではないかと思う。例えば、中学校までの保護者の負担を、財政は厳しいが、減らすとか、そういった考えはないのか。</p>	<p>人口減少に歯止めをかけるというのは非常に重要な施策の一つだと認識している。特に若い世代、子育て世代の人たちに向けて何ができるのか、ただ今、検討中であり、来年度以降、そこに向けて頑張っていく。学校再編はチャンスであると思っている。</p> <p>しっかりと質の高い教育を素晴らしい教育環境の中で受けさせることができる、小松島市の特色をアピールしていきたい、それによって小松島市で教育を受けさせたいというまちにしていきたいと考えている。</p> <p>保護者負担に関しては、この場ではお答えはできないが、財政課とも打ち合わせをしながら、検討してまいりたい。</p>
<p>この案どおりに多分計画が進むと思う。千代小学校は地域の活動の拠点として、中田、江田、中郷いっしょに、避難所としていっしょにあることはあるが、それ以外はない。千代小学校、拠点の場所がなくなることについて、市は、今後、江田町や中田、中郷の活性化について考えがあるかお答え願いたい。</p>	<p>小松島市内で、江田がどうか、中田がどうかという考えはない。どこも大事なまちだという認識で市政運営に取り組んでいる。先ほど、説明のあった跡地利用は大切なことだと考えている。地域のことについて一番詳しいのは地域の方であって、各協議会、自主防災会といった団体の方と一緒に、我々も参加させていただいて、知恵を絞っていきたい。残念ながら、今のところ、跡地利用で具体的な案があるのは小松島小学校だけ。我々だけでは思いつかないので、いろいろお知恵を拝借して、地域とともにしっかりと考えていきたいと思っている。</p>

意見	回答
<p>1つ提案だが、統合して学校がなくなる地域は、住民活動の拠点となるような、災害の重要な避難所となるような、例えば公民館、他の施設でもいいのだが、小学生からお年寄りまで皆が利用できるような活動をつくれれば、1カ所ではなく市内に広がればよいと思うので、各町に避難所を兼ねた公民館を。</p>	<p>ご提言ごもっともである。今、限られた財政の中で選択と集中をテーマに掲げ、いろんな施策を練っているところ。特に学校再編は最重要課題の一つ。災害に強いまちづくり、市民の皆様の命を守ることは、一丁目一番地だと考えている。残念ながら、小松島市には高い建物が少ない。ただ、中田町に関しては、夏にホテルができたり、日赤の西棟ができたり、徐々に避難場所も増えている。ついこの間、避難計画を策定して、できるだけ避難困難地区の解消に取り組もうとしているところ。その中で、どうしても避難できない場所に関しては、優先的に複合施設になるのか、避難タワーになるのか、今後計画していくうえでの問題ではあるが、複合施設等を建設して、逃げれる場所をつくっていきたいと考えている。また、地域の活性化につながる公民館、来年度には小松島公民館の整備も進めていこうと計画しているが、まずは、命を守る施設を最優先にして取り組んでいく。</p>
<p>そもそも再編は学校の老朽化が一番にある。大規模改修する。そのためにお金がかかる。だから、再編すると。じゃあ、そもそもお金があれば再編計画はなかったのか。小松島市は財政が厳しい。経費がかかるのなら、市として、経費を生み出すような、捻出するような施策は考えてきたのか。</p>	<p>学校再編については、今回お示しさせていただいている中で、学校施設の問題もあるが、児童人口が将来において減少していることを踏まえ、再編しなければならないと検討してきた。施設についても、多くの学校で老朽化が進んでいる。このことも解決するために計画案を策定したのでよろしく願いたい。</p> <p>財政面については、教育委員会だけでなく、市全体で取り組んでいかなければならないことで、将来に向けて人口が減っていくことを防げないかと、各課で出し合って今後に生かせないか、今動いているので、よろしく願いたい。</p>
<p>私の考えではあるが、市街地にある学校は存続すべき。スクールバスを出すと交通渋滞があつて時間がかかるし、時間が読めない。子どもたちが朝早く家を出ることになって結構負担がかかる。具体的に言って悪いが、南中学校管内だったら、渋滞があるかないか分からないが、バスを走らせてもスムーズにいくのではないかと思います。特にこの辺りは、存続して、ない場合は通学支援をするのでいいのではないかと。</p> <p>あと、教育理念で未来を担う人を育てる教育というが、少人数学級でもいい面はあると思う。特に集団化しなくてもよいのではないかと。</p>	<p>交通渋滞に関しては、県道、日赤までずっと広い道路になっている。ただ、学校に通う時間は、市内どこもそんなに渋滞はないような気がする。今後、高速道路ができたら、小松島市は住みよいまちになるのではないかと。今のところ、それほど渋滞は考えられないし、中田地区、千代小学校区から南小松島小学校へ通うのは逆方向になるし、そこは、大丈夫ではないかと考える。</p>
<p>説明会をいくつもされているし、その都度、分からなかったら聞いてくださいと声をかけてくださっている。私らが、これはおかしいと思ったら、すばらしい議員さんを通じて質問したりするが、一般の方は聞きづらいということもある。</p> <p>市民の意見を聞くためにこんなことを頑張ってきたというようなことがあれば、呼びかけとかそういったものがあれば、聞かせてほしい。そうでないと、そもそも論がずっと出てくるような状態が続いてもしかたがないので。こういった場だけでなく、もっと門戸を開いていただいて、常に意見が求められるような方法、何か今までやってきたことがあれば、願いたい。</p>	<p>計画案については、前回、2年前もこうした形で説明させていただいた。おっしゃるとおり、幅広い皆様からの意見を聞くということで、市長が就任した折に、学校再編についてどう考えるか、小学校や就学前の施設を回って意見を伺った。今回も各校を回らせていただき、必要に応じて再度回らせていただきたいと考えているので、よろしく願いたい。</p> <p>今回の学校再編計画案は、ホームページやYouTube、SNS等で発信しているし、市役所の受付で資料を配っている。また、教育委員会の学校再編準備室を窓口として、疑問があれば対応させていただいている。また、今回説明会は11校区のうちの5回目であるが、どの会場にも市議が数名来られて、非常に関心を持たれている。聞いたり、伝えていただいてもいいし、市議から要望若しくは提案をいただけたらよいと思っている。</p> <p>11校に限らず、各種団体、要望があれば、10人以上の人数が揃えば、そこでも説明会を開こうと思っているので、よろしく願いたい。</p>
<p>65億円の経費。例えば、小松島市が平成17年の時の再建団体に陥りかけた。その時は、市の団体にも声をかけて再建団体に陥らないように、市内を回って市民の方、保護者の方にご協力いただいた経緯がある。これから、例えば、小松島市が再建団体に陥りかけた時、再編はやめるのか、進めるのか。</p>	<p>前のような状態に陥らないように、今、行財政改革も含めて一生懸命努力しているところである。これは市議会にもその都度チェックしていただいておりますので、おそらく、そのようなことにはならないと思っております。我々も成長していかなければならない。その成長によって、市民の方々の生活の向上のために、いろんな分配をしていかなければならないということをお忘れずに、今後も市政運営をしていきたい。学校再編については、必ずや最後までなし遂げると強い決意のもと、全庁一丸となって取り組んでいく。</p>

意見	回答
<p>国債が1166兆。コロナ対策で必要だと思うが、また国債が増える。このような中でもし何かあれば、いかなる計画も頓挫せざるを得ない。平成17年のことをいえば、固定資産税を1.4から1.5に上げた。市民にかなりの負担をかけた。小松島市は大きな企業もないし、構造的に弱いところがある。そこをきちんとして、早めにしていただけたらと思う。</p>	
<p>前回の説明会の時も出させていただいた。その時の皆さんの意見は、ぜひ全小学校を残してほしい、再編をするのになぜ津波が来るような南校へ児童を固めるのかというのが多かった。市長さんが選挙の時に公約として、学校再編は見直すということだったので、非常に期待していた。</p> <p>ところが、今回の見直し案は、北校を残す、ただ一校増えただけ、あとは今まで通り進めると。その理由として、児童の数が減少しているから、そのために、より良い教育ができていないからだ。確かに、運動や音楽でそういうことはあるだろう。しかし、市民としては、伝統のある学校、地域のコミュニティの場をなんとか残していただけないか。</p> <p>私は、再編に反対ではないし、ある程度の再編はやむを得ないと思っている。しかし現在の児童数を見ると、北校と見安、たった5人しか変わらない。どうしても再編するなら、千代、見安、北校、小松島小学校で、現在この4つで451名くらいいる。これを1学年2学級にしても各学年30人から40人、13学級くらいの計算になる。教育にある程度の人数が必要というなら、もう少し考えてほしかった。南と芝田を合わせれば490人くらい。そこも30、40人で13学級くらいできる。そういう分け方もあるのではないか。</p> <p>もう一つは、なぜ津波が3.5mも来る危ないところにまとめないといけないのか。市長さんをお願いしたい。ルピアの前の市営住宅。あそこは今誰も入っていない。あそこ辺りに小学校を建てていただきたい。農地をしていない場所もたくさんある。中学校とも近い。それは、どうなのか。</p>	<p>児童数について、現状のまま全部の小学校が10年後、20年後を迎えると、複式学級の可能性が5校、6校と出てくる。そうすると、教育内容や教育方法に制限が出てしまう。やはり、これは避けたい。これが再編の第一義。児童数が急激に減ってきたので建てましょうといっても、1・2年では建たない。だから、5年先、10年先を考えながら、その時に子どもたちがよりよい教育を受けられる状況をつくっていく必要がある。</p> <p>場所について、委員会でもいろいろ検討した。スクールバスは入れるか、借地の問題はないか、子どもたちが通うときのアクセスはどうか、JRやバス路線は使えないだろうか、そういったことを検討した。そういったことで今回の案となった。スクールバスを走らせればいいと思うが、市内に10台、20台も走らせるのは現実的ではない。バス会社や台数の問題もある、毎日修学旅行のように何台も連なって学校へ行くというのは危険性もある。そうすると、できるだけ、徒歩で学校へ通えるところとなる。</p> <p>委員会として、学校再編をするときに大事にしたものは、これらのこと。</p>
<p>私は、南小と芝田、千代、見安、北、小松島がいいと思う。もともとスクールバスを走らせると言っているのだから、なんら問題はないと思う。</p> <p>それともう1点。この5校のままで再編を進めるのなら、今までの校区でするのか。柔軟に対応すると言っている。千代の校区で見安が近い方もいらっしゃる、見安に行くのは可能なのか。千代の方が北校へ行くのも可能なのか。小松島小学校の方が北へ行くのも可能なのか。濱田市長の時も質問したが、校区割りは変えない、従来どおりということだった。そこは、いかがか。</p>	<p>計画では、学校区ごとの再編とさせていただいている。再編後に近い場所に別の学校がある場合は、申請して通うことを認める方針を出している。近い学校に希望すれば通えるということになっている。</p> <p>今回、校区を見直さなかった理由は3点ある。1点目は、新たに学校を建設する場合、その学校の規模を把握する、生徒数を把握するため。2点目は、地域の関係をそのまま継承する、新しい学校に引き継ぐということ。3点目は、これまで築いてきた児童同士の関係も継続していけるということ。</p> <p>ただし、先ほど申したように、近くに学校がある場合は申請により通うことができるので、よろしく願いしたい。</p>
<p>それは距離だけの問題であって、例えば対人関係。小松島小は南校が近いが、親御さんも子どもさんも南校へ行くのは嫌だ、北校へ行きたいといった場合は駄目なのか。</p>	<p>現在も様々な理由で、住んでいる校区以外の学校に通っているお子さんもいる。それは、各ご家庭の理由があつてのことだが、計画では、再編によって、別に近い学校がある場合は申請により認める方針としている。再編後は、児童人口がどうなるかなど、見直し期間を設けて、校区についても検討していくので、よろしく願いしたい。</p>

意見	回答
<p>3年前の基本計画の説明会にも参加させていただいた。2年前の説明会にも参加させていただいた。いろいろ話を聞かせていただいて、納得できる部分、できない部分があった。その中で、今回も、皆さんのお考えを聞かせていただいた。</p> <p>基本的に私は、学校再編はしかたのないことと思っている。3年前の基本計画の時には何校というのは出ていなかったが、私としては、せっかくこういった計画が出るのであれば、思い切ったことをしていただいて、小松島が徳島で一番教育に対していいまちだというぐらいにしてほしいと思っていた。</p> <p>私は千代卒業生だし、子どもも通っている。心情的には嫌だと感じている。心情的にいうと学校名。南小松島小学校が新小松島小学校、新開小学校が新小松島南小学校と名前が変わるのであれば、児安小学校、和田島小学校もこれを機会に、全く新しい小松島の学校ということで、新しい校名にさせていただけないか。例えば、児安だと小松島西小学校、和田島だと小松島東小学校、ちょうど東西南北。そういうふうにしていただけないか。</p> <p>それはどうしてかという、こっちは残った、千代はなくなった、うちは残ったんだとなるのは嫌だなど。</p> <p>それともう一つは、留意事項にあった学童保育クラブ。千代には現在学童保育クラブはないが、児童館がある。学校再編になるとそれに伴って、千代には児童館が2カ所あるが、それもなくなってしまうのか。</p>	<p>今回、再編される学校については、新たにできる学校として学校名を変更する予定である。児安小学校、和田島小学校については、現在のところ、校名を変えることは考えていないが、再編が進んでいく中で、保護者の方や準備の段階で、様々なことをしていく。その中で、ご意見をいただいて検討していきたいと考えている。</p> <p>学童保育クラブについては、新たに校舎を建てる場合、併設若しくは専用区画を設けて建てる予定にしている。今、それぞれの学校にも学童保育クラブや児童館があるが、学校再編があるからといってすぐに廃止するという考えではない。いろいろな準備の中で、今ある施設をどうするかなどについて協議をして、方向性を出していきたいので、よろしく願いしたい。</p>

【記入用紙にいただいた意見】(千代小学校)

○いろいろ意見があったが、いい意見は取り入れたらいい。私は、合理的でいい案と思うので、予定通り着手して頂きたい。いい意見は子どもたちのための意見。

みんなが100%賛成することは難しいので、少数意見は聞かなくていいと感じた。

通学支援に関して、実ルートで1,800mを目安対象に加えてほしい。グーグルマップのナビ機能で簡単に確認できる。

○この説明会は、昔から住んでいる人の歴史ではなく、今後の子どもたちのことを考えてくれた結果の提案についてだと思う。ただ、財政難などは仕方ないにしても、子育て世代からするとお得がないので、その辺りは、考えて頂きたい。

スクールバスについては、線引きが難しいが、半径でなく、実際の距離で考えるべき。個人的には、少人数より、1学年2クラスくらいの方が学校生活は充実すると思っている。

○歴史も重要かもしれないが、今学んでいる児童の方が大事ではないか。

地震・津波対策が心配。

千代小学校1年生は9名なので、学校再編は急務。新校舎も大事だが、今ある校舎に編入などはできないのか。

○市立学校再編計画、いい方に進むよう応援させていただきます。

○国の方針は20人学級と言っているが、それからみたら、当市の再編はどうなるのか聞きたかった。

小人数学級が世界でもすすめられているのに大人数学級にしていくのは子どものためにもまちがっている。当市ですすんで小人数学級を実行してもらいたい。

○①歴史ある千代小学校を廃止することは、まず反対。

②先に経費がかかるなら、費用を生み出す努力が必要。

→また、少子化対策や他からの若者の移住等を真剣に考え、児童数を増加させること。

③市街地にある小学校は存続すべき。スクールバスの通学は交通渋滞で時間がかかるし時間が読めない。

→朝早くから家を出発しなければならない。小松島南中管内は比較的スクールバスも円滑に運転できるのではないか。

→この管内では再編は賛成。

④未来を担う人を育てる教育というが、小人数学級、学校でもいい面がある。

「自立」なら田舎でのびのび生活している児童もいる。

→特に、集団化しなくてよい。

⑤再度、再編の方法の検討を望む。

○資料とか、説明を聞いていると、小学校再編は、もっともなようだが、市の財政から観ると、他の地区にしていないことを大きな予算をかけてする必要があるのか疑問。

どうしても再編をするのであれば、伝統と歴史のある豊臣秀吉豊国大明神を考える、残すことが重要。

少子高齢化によるものと思うが、今の日本は全てに少子化が影響していると考え、今後は子どもの数を多くすることが先決。

○本来は再編は反対であるが、児童人員の減少などでしかたがないが、最終は、小松島校区は、千代、北、小松島、児安小で1校。南、芝田で1校。

○前回とかわらず、北校をあとにまわし、目先をかえただけ。防災面は？南小学校の立地は？

道路(歩道)はせまい、広げるのか。事故があったと聞いているが、歩道を広げる、ガードレールの設置を検討や信号や横断歩道の新設。

旧校舎の活用案。地域の人が使えるスポーツ施設、公民館、交流施設等。

○2年前の計画案を元に細部をつめていってくれたとは思。小松島市が教育では徳島で1番良いと言われるようにしてほしい。

○この再編の話がでる事によって「この小学校はなくなるから」と南小や北小に子どもが流れて、来年度以後の入学にもひびきそうで、悪循環だと思う。

子どもが少ない、少ないばかりで、少しは人口を増やすという努力を市はみせてほしい。以前といっしょで何もかわらない様なので、意見はあまり意味がない。

○教育の質は学力向上が必須。市内高校の進学実績があまりにも低すぎる。子どもを進学させるには躊躇する。そうなると悪循環で優秀な人材が育たない。

令和3年度 学校再編に係る住民説明会 意見要旨

日 時: 令和3年10月19日(火)

場 所: 児安小学校

参加者: 20名

職 員: 中山市長、三宅副市長、小野寺教育長、勢井副教育長、
 築原教育政策課長、稼勢学校再編準備室室長、河口学校再編準備室係長、
 曾我部学校課長、大島生涯学習課長

- 内 容: 1.開会
 2.市長あいさつ
 3.職員紹介
 4.配布資料確認
 5.説明
 6.質疑・応答(意見交換)
 7.閉会

意 見	回 答
<p>令和2年3月に市議会から意見書が出されたとのことだが、今回新しい案となったのは、何か地域の方からの署名とかがあったからか。</p>	<p>いただいた意見書の内容は住民理解が十分でないというもので、それを踏まえ、もう一度、計画の中身を見直すのではなく、住民の理解が得られるような計画になるように有識者会議を設置して有識者からいただいた意見を参考にして見直すべきものがあれば見直すということで今回の計画となった。</p> <p>前回と変わった点は、2030年度までに4校にするというのをもう少し中長期的な視点で計画したこと、財政的な検証を加えたこと、その結果、今回の案をお示しさせていただいた。</p> <p>特に、署名があったからというわけではなく、再度、皆様に説明するにあたり、見直すべきところがあれば見直したいという思いで、今回変更させていただいたので、ご理解賜りたい。</p>
<p>この説明会が終わって、再度議会から、住民の理解が得られているか意見があった時、また変更はあるのか。</p>	<p>11校で説明会をさせていただいて、住民の皆様にご理解いただけるよう努めているところ。再度見直すことがないような計画になっていると思っているので、この計画で進めさせていただきたい。</p>
<p>3点お聞きしたい。</p> <p>1つめは、前回説明会の時に、11校の説明会が終わったら、市民の中から無作為で3,000人にアンケート調査をするということだった。その結果は、市民に公表されているのか。</p> <p>2つめ、先ほど、安全対策として、通学路安全推進協議会で通学路の安全を確保するということがあった。私の子どもも児安小学校に通う予定だが、歩道の設置という話はまだ出ていないのか。</p> <p>3つめ、児安小学校は大規模改修ということだが、運動場に工事車両が進んでくると思う。その際、体育や運動会等、運動の確保についてどう考えているのか。</p>	<p>アンケートに関しては、市のホームページで公表している。</p> <p>安全対策については、現在も通学路安全推進協議会で全校の安全対策についての確認作業や補修箇所、危険箇所の把握をしている。再編にあたっては進めていくが、児安小学校については、これまでも行ってきたし、今後も危険場所を把握して改善すべきところがあれば、制限はあるかもしれないが、できるだけ取り組んでいきたいと考えている。</p> <p>大規模改修に関しては、令和8年度から11年度に改修するという計画にしている。実際にどのような工事になるかについては、これから検討することになる。改修するとなると、夏休みだけでできる工事ではないと思っている。学習に多少なり影響が出てくることになると思うが、できるだけ、最小限の影響になるように、運動場の確保などについて配慮したいと考えている。</p> <p>通学路、県道小松島佐那河内線の一部歩道ができていない。県の方には毎年要望に行っており、この間も県に、西側への延伸を要望してきたところ。ただ、用地買収などのこともあり、いっそうの地域の方のご理解とご協力をいただいて、県へ要望し続けるので、ご協力いただきたい。</p>
<p>歩道ももちろんだが、大きなトラックも通っている。通学時間帯を避けるという話を聞いているが、子どもたちの下校時間が変更になったり、長期休業中とか、登下校時間ではないときに子どもたちが通ったりすることがある。その時もトラックは通っているし、県外でも大きな事故があったので、どうかしてほしい。トラックの通り方が今どうなっているのか、どう制限されているのか、お聞きしたい。</p>	<p>朝の登校時間帯は県道を通らずに大きく回って、勝浦川橋南詰の方を回って運行している状況。ただ、不規則な時間、学校行事の都合で時間が変更になる時に関しては、そこまでトラック会社との協議ができていないと思う。それを事前に、学校の方から教育委員会を通じてその会社に協議していくことはできると思うが、教育委員会と話し合いをしたい。</p> <p>当然、会社の方と交通の状況について、PTAも含めて話し合いをして、現状のような形になっている。雨の日、傘を差して子どもが下校する時、大きいトラックが横を走ったら危ないということは分かっている。歩道の整備とトラックの運行のしかたのご協力をお願いしていくといった形で進めていきたい。</p>

意見	回答
<p>小中一貫、国のスケジュールとしてはどんな形になっているのか。もしご存じだったら教えていただきたい。というのは、小学校が大きくなったらほぼ中学校と同じ形で上がっていく。国とのスケジュールの整合性とかをお尋ねしたい。</p>	<p>小中一貫の国の指導、「いつまでにこうしましょう」というのはまだ出ていない。ただ、国や県から小中一貫の教育の在り方について考えていきませんか、という指示は出ている。説明の中にもあったが、小学校と中学校の連携は非常に大切。その部分を強化したいが、現在、小学校11校、中学校2校で、1つの中学校に5つ、若しくは6つの小学校が集まる。そういった状態ではなかなか小学校と中学校、小学校と小学校の連携がやりにくい。そこで、今回の計画では、1つの中学校に2校、もしくは3校の小学校という形をつくっていく。そうになると、学習内容、行事、イベントなどの部分で一貫的な教育が可能となる。学校数が集約されないと小中一貫教育まで踏み込んでいけない、そこで今回の計画となっている。</p>
<p>再編されると、新小松島小学校は466人、児安小学校は84人、すごく差がある。南部は新小松島南小学校が200人台、和田島小学校が100人台。児安小学校と和田島小学校は存続ということだが、そう決めた基準はどういったものなのか。</p> <p>アンケートは無作為ということだったが、現在小学校へ通っている保護者対象とか、教職員対象とか、そういうアンケートはとったのか。</p>	<p>学校再編を考える上で何を一番重視するかについては、通学面。再編によって校区が広がることに不安を感じるという声がたくさんあった。保護者の方からは「無理なく通えるところに学校がある」「徒歩で通えるところに学校がある」という意見が多くあった。それで、徒歩で通える児童が一番多くなる組み合わせを検討したところ、南小松島小学校、児安小学校、新開小学校、和田島小学校となった。今回の見直して、北小松島小学校は校舎が比較的新しいので再編時期をずらして、令和15年までは存続してその後統合するというのを加えた。</p> <p>アンケートについては、教職員を対象にしたアンケートは令和元年度、保育所、認定こども園、幼稚園、小学校の保護者を対象にしたアンケートも令和元年度に行っている。先ほどあった3,000人を対象としたアンケートもこれとは別に行っている。</p>
<p>南中学校区の児童数が小松島中学校区の児童数より少ないのに、なぜ令和10年度から基本設計をし始めるのか。子どもの数の少ない方から取りかかるべきだと思うのだが。</p>	<p>この計画では、北部、小松島中学校区、人数の多い方から進めることにしている。校舎の年数を踏まえると、南小松島小学校と新開小学校では南小松島小学校の方が古いので、そちらを先に進めさせていただく。できるだけ、短い期間で両方の整備が進められればよかったのだが、財政面を考慮し総合的に判断してこのような計画となったので、ご理解賜りたい。</p>
<p>先ほどおっしゃられていた令和元年度のアンケートだが、私の子どもも認定こども園に通っているが、そのようなものを書いた覚えがない。全保護者を対象にされたのか教えてほしい。その結果もホームページ上に載せているのか。</p>	<p>令和元年度に行った保護者対象のアンケートだが、通園されている保育園、認定こども園、幼稚園を通じてアンケートをお配りして回収した。結果についてもホームページ上に掲載しているのでご確認いただきたい。</p>
<p>孫が児安小学校に通っている。いつも皆さんが思うように、通学路について心配して、毎日見送っている。ダンプのこと、雨の日、道の幅のことがある。ずっとここに通いたい気持ちがあるが、この前、立哨をしているとき、派出所がなくなる可能性があると言われた。今度はひのみね交番から来るようになるので、なかなか目が届かないようになる。どうにか残していただけるように、みなさんからお願いしていただけないかと言われた。もし、よろしければ、派出所を残していただけるよう努めていただきたいなど。</p>	<p>通学路については、児安小学校だけでなく、他の学校でも改善の必要がある所が多くある。そういった所に関しては、通学路安全推進協議会で改善を図っているが、今後は地域の方々と一緒になってできるだけ、子どもたちのために安全な通学路になるように頑張っていきたいと考えている。</p> <p>あと、おっしゃられていた駐在所に関しては、教育委員会としては、聞いてはいなかったのだが、そういったお声があるということは、通学路安全推進協議会等を通じてお伝えする。警察の方には、これからは交通安全について協力いただくこともあるので、そういった声をお伝えして、子どもの安全の確保に努めてまいりますので、よろしくお願いしたい。</p> <p>今、県下一円で派出所を廃止している状況。理由として、派出所はほとんど署員がいない、いても5時までというようなことで、交番に集約することによって24時間、市民の安全を守ろうという方針で集約されている。その派出所がなくなるというのはそういう理由で統合されるのだと思う。ただ、立哨の手が足りない場合は、警察にお願いすれば、お手伝いいただけると聞いているので、しっかりと警察と協力していきたい。</p>
<p>皆さんの声を聞くと、やはり子どもたちを安心に通わせたいという思いが大きいと感じた。できるだけ徒歩通学を優先したこと、スクールバスで補うのを最小限にしたことを大事にしたと感じた。通学路の歩道整備は交通安全プログラムをできるだけ有効に、要望をお伝えして、児安小学校の交通安全については向上してきている。歩道は子どもだけでなく、自転車に乗っている人も安全地帯に逃げ込めたということも聞いている。だから、歩道整備は大切。さらに、歩道を延伸するよう、先日要望したし、市長さんも県にされている。一日も早く歩道整備をしていただきたい。そして、安心安全な学校をつくってほしいと思う。</p> <p>(意見のみ)</p>	<p>23</p>

意見	回答
<p>複式学級は何人からなるのか。</p>	<p>複式学級の人数は、学校編成基準についての法律があって決まっている。2つの学年の人数を合わせた数が16人、それより少ない数になると複式学級になる。ただし、1年生が入っている場合は、2つの学年を合わせて8人、それより少ない数になると複式学級になると法律で決まっている。</p>
<p>教育の方針、学校再編に係る説明を詳しく聞かせていただき、お示しの5校案については賛成である。</p> <p>児安小学校について話をさせてもらうと、児安は他と比べて比較的高いところにあるので、津波の心配は少ないのではないかと考えている。勝浦川の決壊を心配されている方もいるが、一部残っていた西原地区での堤防補強もでき、決壊はまずしないだろうと考えている。万が一、決壊しても、高速道路を盛り土でつくっている。児安小学校はその高速道路の東側にあるので、万一決壊しても、一気に水が小学校に押し寄せてくることはないということで、児安小学校は安全だと思っている。それと、歩道については、大分進んできた。市長さんが、現在より西側へさらに延伸していく働きかけをしてくださっているので、ぜひやっていただきたい。学校より東側が歩道の整備が遅れているが、今、学校からすぐのところ、工事にかかっている。</p> <p>それと、運動場と校舎を行き来するところが正門しかなく、給食運搬車なども通って危ないということで、東側に門をつくったが、歩道が整備できていないのでそのままの状態。歩道が整備できれば給食運搬車と別のところを通れるので安全になる。児安小学校周辺は、家もたくさん増え、高速もでき、バイパスの北側、前原に大きな拠点が生まれるのではないかと、さらに発展するのではないかと考える。</p> <p>それと、先ほど話があったが、校舎を改修するときの運動場の問題。ぜひ児安小学校を存続して、皆さんが安心して子どもを育てられるように進めていただきたいと思う。</p> <p style="text-align: right;">(意見のみ)</p>	
<p>児安小学校が工事期間中に子どもが通うことになる。体育館の改修工事も含まれると思うが、使えない間、体育館での行事などはどうなるのか。</p>	<p>令和8年度から11年度にかけて、児安小学校では大規模改修をするという計画になっている。先ほども申したように、まだ具体的な内容は決まっていない。外壁、内装、トイレ改修等を想定しているが、具体的な工事スケジュールやどういった形で進めていくかについては、これから検証していく。できるだけ、児童には支障のないよう進めさせていただく。校舎については、仮設も想定されるが、決まったら、保護者、地域の方にご説明させていただくので、よろしく願いたい。</p> <p>どのような工事になるかはまだまだ先の話になるが、一般的に学校で大きな工事がある場合は、基本的に夏季休業中、休み中に集中して工事を行う、ないしは、子どもの動線、子どもの活動場所と工事の場所を分離して工事を進めていく。</p> <p>小松島中学校の建設時には、学校の行事、時間割を工事担当とすり合わせをして、授業に影響が出ないような工事プランを立てた。こういった形で、できるだけ、授業に影響が出ないよう配慮していきたいと考えている。</p> <p>児安小学校も、前のネットの工事の時に、運動場がだいぶ狭くなった。そのときも、学校と工事担当者で詳細な打ち合わせをして、行事やいろんな場面では工事を休んでもらう、そういう配慮をした。できるだけ、子どもたちの授業、安全に留意して進めていきたいので、ご協力をお願いしたい。</p>

意見	回答
<p>この会に参加するにあたり、見安校区の参加できない皆様からの声を預かってきたので、そのことを聞いていただきたい。</p> <p>見安は高台にあり、高速道路ができてますます活性化するのではないかという期待を込めた声が多く寄せられている。</p> <p>それと、私は中学校の教育現場で25年の経験がある。再編で小学校と小学校、小学校と中学校の連携がもっとしやすくなる。また、いい環境の中で、先生が手厚く子どもたちに関わる、先生の数が増えてしっかりと子どもたちを見てくれることにつながると思う。私自身の感想になるが、あらゆる面でバランスの取れた再編計画を立てていただいたように思う。子どもたちの中には、自己肯定感が低く、ネガティブな消極的な発言をする、そういったお子さんが増えてきていると、教育現場にいたときに感じていた。少しでも自分に自信を持って、社会に出たときに力を発揮できる、子どもたちがわくわくできる、そして、安心安全な学校環境を提供していただきたい。</p> <p style="text-align: right;">(意見のみ)</p>	
<p>参考にお聞きしたいのだが、スクールバスを動かすのであれば、保護者の負担はだいたいいくらくらいかかるのか。</p>	<p>今、教育委員会では、保護者の方に負担が増えないようにという方向で考えている。今後、学校再編準備委員会で詳細を検討していくが、保護者負担がないように考えていきたいと思っている。</p>

【記入用紙にいただいた意見】(児安小学校)

- 前回より充実した内容だった。通学路、安心安全に歩いて行けるというのが一番。
子どもたちから、「歩いていると、ポヨッと音がする」「トイレが臭い」「中庭に草木、虫のいる木が多い」という話をよく聞く。
派出所は、これからも必要。現状の校門は車の出入りにとてもせまく、入出庫に危険、時間がかかります。もう一度、変える必要がある。
一日も早い再編実行を希望します。
- 少子化に当たって再編計画を先手で対策されている。基本的に支持します。
まだまだ先の事だが、気づいたこととして、①1,800mは直線距離と思われるが、市内のどこも田舎道が登下校道となるので、距離はもっと延びる。
幹道を通るには車が走るため、長い道のりはつきそいのボランティアの負担も大きくなる。いずれスクールバスの要望が出てくると思う。
②廃校後の建物について、有効活用を考えておられるが、老朽化等、管理次第で巨大な空き屋になる可能性がある。
- 人数差が大きいので、南小までと同距離くらいの芝田や千代小は児安も選択できるようにして差を少なくしてほしい。
- 前回の説明会よりも詳しく説明していただき、とても分かりやすかった。
児安小存続ということであれば、歩道等登下校の安全の確保は1番の課題。西側に向けての歩道整備は、住宅が連なっていて難しい部分があるが、田んぼ、畑等一部分でもいいので整備を早急に進めていただければと思う。
- 質問事項によってまだ内容が詰められていないので、確かな答えではなかった部分あった。再度、項目の進向が進んでからまた説明会してもらいたい。もっと再編の事こまかく聞いてもらいたかった。
- 前回発表の4校案の問題点を検証し、長期ビジョンを見すえて修正を加え、完成度の高い5校案が提示されていた。プレゼンの完成度も高く、長時間かけて慎重に吟味を重ねて来られたことが伝わってきた。
この5校案(将来的には4校案)のさらなる充実、住民よりの支持の拡充を願っております。これが子どもたちの利益につながっていくと確信しております。
- 県内では他にたくさん小規模校があるが、小松島市だけが全市的に急ぐ必要があるのか。
- よりよい教育環境、ハード面だけでなくソフト面も。先生達の負担が少なくなり、子どもたちと接する時間を増やしてあげたい。
教育のいき届いた市に住みたいと思う人が転入してくれるのを望みます。
- 計画通り進めてください。
- 5校案賛成です。予定通り進めてください。
- 老朽化、安全な登下校(できるだけ徒歩の数を増やす)、子どもたちに手厚い教育、地域のバランスよくできた再編計画だと思う。

令和3年度 学校再編に係る住民説明会 意見要旨

日時:令和3年10月21日(木)

場所:芝田小学校

参加者:12名

職員:中山市長、三宅副市長、小野寺教育長、勢井副教育長、
 築原教育政策課長、稼勢学校再編準備室室長、河口学校再編準備室係長、
 曾我部学校課長、大島生涯学習課長

- 内容:1.開会
 2.市長あいさつ
 3.職員紹介
 4.配布資料確認
 5.説明
 6.質疑・応答(意見交換)
 7.閉会

意見	回答
<p>①過去の説明会ではほとんどの方が学校再編に反対した。それなのにまた今年同じ説明をして、我々の意見は反映されていないと感じる。芝田小学校がなくなる計画を持っていくこと自体が私は全く理解できない。</p> <p>②子ども、人口が減るという受け身の計画。子どもが減らないようにする、人口が増えるようにするのが先で、それを考えるのが政治ではないか。たとえば、子育て支援を充実させて保育料を無料にするとか、学校給食を無料にするなどして、若い子育て世帯が移住してくる例は全国にたくさんある。そういう対策をせず、住宅団地を作ったり、企業誘致などを総合的に行った結果、上手くいかないのなら分かるが。ピンチをチャンスに変える考えがなく、後退している。</p> <p>③大規模でないと教育効果が上がらないということはない。田舎の学校だったら、複式学級になれば町や村の予算でが先生を雇い対応している。小規模では子どもの学力や発達が劣るということはない。論文があるなら言ってほしい。</p>	<p>①前回、芝田小学校で行った説明会では、反対意見が多かったという認識はある。その後のアンケート調査の学校区ごとの結果では、前回の4校案に対する意向調査を行ったところ、全体では79.4%の方がこの計画に「理解できる」と回答。芝田小学校区の方からは全体を上回る83.8%の方にご理解をいただいているという結果が出ている。さらに、この計画(案)を「進めた方がよいか」という問いに対し、全体で71.9%の方が「進めた方がよい」といい、芝田小学校区ではさらにそれを上回る73.0%の方に進めたほうがよいという意見をいただいている状況。説明会の中では反対の声が多かったかわからないが、全体としては、ご理解いただいていると認識している。さらに前回の計画よりもご理解いただけるよう見直しをしての今回の説明となった。</p> <p>②子育て世帯や人口の増加につながる施策については現在までもいろいろな形でしてきたが、大きな効果は得られていない。学校再編については児童数の推計があるのでその中で動かざるを得ない。人口増については学校だけでなく本市の行政運営の中でつなげていかないといけない。今も関係する部署で取り組んでいる。</p> <p>③複式学級になった場合の教員の配置については、他の町村では教員を雇うこともあるかと思うが、本市についてはそういった状況にならないよう、ある一定規模の集団ができるように学校編成をしていきたい。</p> <p>④大規模校と小規模校のそれぞれにメリットとデメリットがあり、一概にどちらがよいとは言えない。学校再編にあたっては、多くの友達や教師とともに学び生活する中で多様な考えに触れ認め合い、協力し合うことを通じて、一人ひとりの資質や能力を伸ばし、社会性や多様な価値を育む事をめざしている。 今現在、学力というのは、教科書で知識を学習するだけのものではなく、互いにグループ学習などを通じてディスカッションや協働学習を行い、新しいものを創造していくことや多様性を認めていくことも学力で、生きていく力になっていくと考えている。そのために一定程度の集団が必要と考えている。クラスの人数が多いと学習に合わせ、例えば30人クラスにいると15人と15人に分けて学習をしたり、6人のグループを5つ作り学習するなど、目的やねらいに応じて学習形態を変えるなどいろいろできる。そういう考えで再編計画を進めていきたい。</p>

意見	回答
	<p>本市が人口減少対策を何もしていないと言われるが、決してそうではない。今一番大きな問題として考えており、全庁挙げて対策を毎日のように協議しながら取り組んでいる。人口が減ってきたと、安易な考えで学校再編を進めているわけではない。企業誘致につながる施策を考えつつ、子どもを生み育てやすい環境づくりを進めている。すぐには結果が出ないかもしれないが、そのように取り組んでいる。</p>
<p>小学校を再編して人口減少に拍車をかける心配がある。そういう政治をするのか。バスに乗って通わないといけないところに好んで来るのか。学校再編をしないでほしい。(返事不要)</p>	
<p>市教委が言う「一学年複数学級」が教育効果を上げるという科学的根拠があるのかという市民団体の質問にまともに対応していない。それは科学的根拠がないからだと思う。複式学級になったら教員の加配をすればいい。</p> <p>北校は当面存続。当面建替える必要がないからという理由。建前は教育効果だが、本音は教育予算の削減ではないか。世界の趨勢は20人以下学級。小規模学級ならそのままソーシャルディスタンスができ、安全安心な学校。大切な子どもたちの学校生活の場を教育にかけ金を削るために奪ってはならない。</p> <p>コミュニティの拠点をなくせば子育て世代は住まなくなり、人口が減る。後で活性化策をしても意味がない。こういうことで反対。</p>	<p>学校数は段階的に変わってくるが、一番めざす児童数は、18人から25人くらいで推移ができればと考えている。現在、文部科学省で40人学級では多過ぎるということで2025年までに35人学級にしていこうという流れ。20人以下をめざすという意見も文部科学省の有識者会議の中で出ているが、複式学級については、細かな指導ができるなどいい面はあるが、学校の教育活動を一年間通じてやっていくにあたり、教育の内容や方法に制限が伴う。人数が少なくなると対人関係も固定化しやすいなどがあり、小松島の場合は通学ができる範囲内で学校の集約ができるなら、18人～34人の間で推移するような児童数の集団を作っていくほうがより教育効果が上がると考えている。</p> <p>科学的根拠ということだが、東アジアの国の中には日本よりも成績が高い国もたくさんある。そこが少人数かということでもない場合もある。教員の立場で言うと40人学級は教室がいっぱいになり難しいが、ある程度20人から30人程度の学級というのはいろんな教育活動がしやすくなること、学級としても機能するから友達同士の関係においても、よりよい教育活動ができるのではないかと考え、今回の再編案を提案させていただいている。</p> <p>跡地利用については、我々の世代では考えられないような方法もありうる。今後、皆さんと意見交換をしながら何ができるかをしっかりと考えていきたい。</p>
<p>芝田小学校では少人数による教育の低下を感じている親や先生はいない。地域の人もそういうことはないという気持ちが強く、そういう意見をしていると思う。その部分でいくと、令和9年に開校とあるが、逆に行政はこれを進めていきたいというが、新小松島南小学校はこれだけ遅れてくると、教育の平準化だったり、俗にいう教育の差別や区別になってこないか。南と北側でこれだけの年数のタイムラグが起こることとは、その間、子どもたちは市の行政が今考えている教育を受けられない期間になる最低でも同時進行で進めるのが正しい統合。</p>	<p>一度にできれば言うことはないと思う。新しい土地に建てれば授業をしながらの工事ではなくて子どものためになるということは重々承知しているが、約70億円近くお金がかかる。今市の財政は毎年約150億円の中でいろんな事業をやっている。国の補助金もそんなにももらえない中で、子育て支援や高齢者の医療福祉対策、ごみ問題や日の峰大神子公園などの現在進行中の大型の事業をしながら、すべての市民の人たちにサービスが必要。その中で70億円の予算はなかなか出せない。非常にジレンマがあるが、老朽化した学校でもより危険なところは来年度から予算をつけて改修していきたいと考えている。</p> <p>集団をつくり質の高い教育をしたいという思いはあるが、ここ数年の児童数の減少には驚く。学校の校舎は普通の家のように1年2年では建たない。大体5年6年かかるのが現実。このまま先送りすれば建てようとしたときには児童数は激減してしまいそうなので、できるだけ早くとりかかりたい。10年後の見直し期間で、複式学級にはなっていないことを想定。現時点でなっているところもあるが、その学校と再編は切り離して考えて、10年後には先ほど言ったような体制づくりができる方向で進めたい。</p>
<p>芝田小学校は地図上でもわかるとおり、南中学校に行く生徒と小松島中学校に行く生徒の分かれ目になっている。兄弟で進学先が異なることも出てくるが、建設に5年も必要か。基本設計、実施設計は並行してできるのではないか。3～4年は短縮できるのではないか。</p> <p>開校一年前の説明でも今回のような説明会で「来年複式学級になるのではないのでしょうか。新小松島小学校への統合若しくは編入を皆さんに説明させてください」と言えるのではないか。芝田小学校に関しては今決めなくても計画に影響はないのではないか。今の段階で決めるのではなく、模索できる部分があるのではないか。</p> <p>芝田小学校の校区や進学先の特徴を踏まえ、もう一度根本的部分を考えてほしい。</p>	<p>民間と行政のスピードは全然違う。あらゆる手続きを踏まなければならぬためそこに時間はかかるが、工事期間に3年は見過ぎかもしれない。期間を短縮できる方法を模索していく。</p>

意見	回答
<p>①坂野中学校と立江中学校の施設はどういう形で利用されているのか。</p> <p>②南中学校のときに「まちづくり協議会」は立ち上げを検討したのか。</p> <p>③田野町には避難所がない。この場所も避難所ではない。計画を進めるのであれば「地域とともに検討していく」ということをもっと強力に進めてほしい。</p>	<p>①どちらも校舎は耐震化されていないため取り壊したが、体育館は再編前に耐震化していたので、社会体育で使用している。校舎を取り壊した残りの敷地については、運動場だったところは今も社会体育で使っている。それ以外の校舎があった場所は、一部未決定のところはあるが、新たにゲートボール場を整備する計画もある。</p> <p>②当時は「まちづくり協議会」は立ち上げていない。このたびは小学校再編をするにあたり全庁的に利活用について検討するために立ち上げて、地域の方と一緒に望ましい活用方法を検討したい。</p> <p>③再編後の体育館は災害のときの避難所の役割を担っているので、体育館として使える形で残し、社会体育や避難所として使うことになると思う。ただし津波の場合は現校舎の屋上を津波避難場所に指定していると思うが、校舎を残さないとならない。使える校舎はいろんな形で利活用して屋上を引き続き避難場所としていきたい。</p>
<p>津波の場合は3階以上が避難所になっているから、この体育館は避難所には指定されていない。もしそういう災害が起こった場合、大雨のときも同じで田野町には避難所がない。芝生の多目的センターまで行かないといけない。危機管理課に確かめてほしい。そこら強力に進めてほしい。</p> <p style="text-align: right;">(意見のみ)</p>	
<p>今回の再編案には反対。理由は主に二つ。一点目は、少人数だからできる学びがあること。二点目は、南小松島小学校敷地と海との距離が近いこと(504歩、海拔など)。もっと内陸部に建設するべき。財政難はクラウドファンディングで対応したらどうか。</p>	<p>南海トラフ地震に関する津波の想定は、現南小松島小学校あたりは3mから5mくらいまでのランクに入っていると思う。この想定は最悪を想定したもので、その想定では芝田小学校や櫛淵小学校まで浸水することになっている。この津波で安全などと言える場所は、小松島市に浸からないところはない。今回の新しい学校をつくる際には1階をピロティ構造にし、建物自体は安全が保てる構造にしたい。南小松島小学校だけでなく、バイパスから東側はほとんどよく似た条件。それを極端に考えると校舎自体、あるいは我々の住む場所すら小松島では無理なのではないかとなる。千年に一回の想定と言われているが、それを考えると日常生活が成り立たなくなるので、ある程度、万一の場合はこうしようと逃げることを考えながら、公共施設をつくっていかざるを得ないのではないかと考えている。その中でしっかりと命を守り、そのためにはしっかりとした構造にすることが今の最善の道でないかと考えている。</p>
<p>スクールバスを使ってこの地域のバスを南小松島小学校の方に送ると言っているが、発想の転換で、南小松島小学校の地域の方にこっちに来ていただく。路線バスがあるので、新しいバス路線をつくる必要もない。私は3歳のときに南海地震で家が潰れそうになる経験をした。阪神大震災も揺れたがあんなものではなかった。</p> <p>芝生川のすぐ近くに住んでいるが、神田瀬川も芝生川なども全部逆流してくる。逆流するところの一番近くにあるのは南小松島小学校。本当の意味で子どもたちの命を助けたいと思うなら、せっかくお金を使って新しい学校をつくるならまず子どもたちの命を助けることを考えて。私たち大人が犠牲になることは確かに大変だが、一番は未来を持っている子どもたち。子どもたちの命を守るのが学校の基本。それから教育を真剣に考えること。小松島出身者はたくさんいるのでクラウドファンディング。</p> <p style="text-align: right;">(意見のみ)</p>	
<p>民主主義だから多数決の方にいかざるを得ない。大勢のところでは生きづらい子どもたちがコロナ禍の中で増えたという記事が数日前にあった。一つお願いしたいのは、そういう子たちを切り捨てるのではなく、大勢の中では無理でも、小さな規模の学校ではやっていけることになる。親にしてみたら自分の子はまさかということで「がんばれ、がんばれ」というが、言われるほど子どもはつらい。ということで、市内に、芝田でもいい、櫛淵でもいい、小規模学校を一つくらい残しておいてほしいなという意見。</p> <p style="text-align: right;">(意見のみ)</p>	

意見	回答
<p>今年の1月31日の徳島新聞に教育長の考えが載っていたが、「統合しても各学校の伝統・文化は絶やさないように努めてまいりたい」とあった。具体的にどのように対策を考えているのか。小学校は教育の場だけでなく地元のつながりがある。</p>	<p>学校の役割は確かにおっしゃる通りに、学校教育が一番にあるけれど、地域の教育の要でもあり、地域のコミュニティを繋げる場である。その背景を考えると、新しく子どもたちが行く学校に当然、伝統文化をもっていないといけない。それぞれの地域を代表するような方に入っていただく。それが一つは、コミュニティスクール、学校運営協議会という組織が学校にはあるし、今後できたりする。そのメンバーになっていただき、その中で各地域のお祭りなどを新しい学校に集約していきたい。</p> <p>もう一つは、地域学校協働活動事業の社会教育の立場から学校にアプローチをかけるシステムであるが、地域社会として学校に連携を求めていく。その部分が再編を進める上で大事になってくるのではないかと考えている。子どもや住民の人数は減っていき、今まであるいろいろなものはそのままにしていけば無くなってしまうかもしれないので、まとめていかないと伝統が消えてしまうと思う。</p>
<p>「新しい学校」でいったが、芝田小学校はここにあるから地元とのつながりがある。今の南小松島小学校の場所と田野町に何のつながりがあるのか。そこら辺を教育関連の人は全然分かっていない。統廃合によって、計画とおりにいけば小学校がなくなる。今小学校があるから天王谷の団地などに若い人が来て小学校に通ってくれているが、そこら辺の子が小学校が無くなれば絶対に住みつきにきたりはしないと思う。そこら辺の子は日開野や横須などの南校に通える、歩いて徒歩で通える範囲のところに家を建てるのであれば、こんな小松島市に誰が家を建てるか。どうせ建てるなら徳島や阿南市とかに行くと思う。だから統廃合すれば人口減はますます拍車がかかり今3万6千人ほどがすぐに3万5千人台になり、3万4千人台になり、藍住町よりも人口が少なくなって、「小松島町」に名前を変更しないといけないと思う。</p> <p>確かに私も市役所に行っていたので、市長部局の方はどうにか人口減に歯止めをかけるように、金磯に一つ学校をつくるかという計画があったように、市長部局は確かに人口を増やす考えてやっているとと思うが、それに対して教育委員会が足を引っ張っているように自分には見えてしょうがない。前回の説明会より理解を得られるように変更したと言っていたがどこを変更したのか。芝田の我々に対して理解が得られるようにどこが変更されたのか。7割の方が賛成しているからと言って、行政は進めていいものではないと思う。</p>	<p>重要課題の一つと考えている。誰かの意見にもあったが、ピンチをチャンスに変えるために、素晴らしい学校を建てて、小松島の教育を受けさせたいと思われるような学校づくりをしていけば、転出が止まるのではないかと考えている。</p> <p>例えば、学校が一定の距離があるところに家を建ててくれる人に対してはしっかりと通学支援をする。</p> <p>例えば、今の南校に通っている生徒たちの多くを保護者は送っている。去年意見聴取会で言われたのは、「仕事行く前に送って行くから、一番は綺麗な校舎をつくってほしい」「こんな汚い校舎には通わせたくない」という意見が多かった。</p> <p>だからそれを早めにつくりたい。シンボルになるような学校をつくることによって、出ていく人たちを止める。それが人口減対策にもつながるのではないかと。転出者の割合も抑えられ、芝田地区への人口流入もあるかもしれない。</p> <p>そういうまちづくりをしていきたい。</p>
<p>大規模校の方が小規模校よりもいろんなことでよいとあったが、南小松島小学校から中高一貫校への進学率はわかるか。芝田小学校については知っている。差を知りたいのでわかれば教えてほしい。附属中学も含めて。</p>	<p>中高一貫校だけの資料は持ち合わせておらず分かりかねる。市内の中学校以外に通っている子どもは大体9%から13%くらいだったということは記憶にあるが、その数値は分かりかねる。</p>
<p>去年の説明会でもけっこう話題になったと思うが、通学距離のことで半径1,800mで30分という説明は去年もあったと思う。いろんな保護者の方からランドセルを背負った小学校低学年の子が道のりにすれば1,800mよりも長い距離を30分で歩けるのかという話が出て、実際は芝田小学校区は1,800mも際どい。うちも1,800mに入るかどうかのところにあるが、今2歳の娘がいるので令和9年度には小学校低学年で南小松島小学校の方に行くことになり、親としては娘を歩いて通学を毎日させるのは心配過ぎて無理。</p> <p>この一年間でどんな話し合いがあって、1年前と変わらない結果となったのか。</p>	<p>通学距離に関しては計画は1,800mを目安として徒歩で通えるところが1,800m以内としている。今後、具体的にどの位置までは徒歩通学が可能かどうかということについては、今後設置される「学校再編準備委員会」で詳細を検証し決めていきたい。その中で通学支援の内容も併せて考えていきたい。</p> <p>なお、低学年や高学年で支援の内容が変わってくる可能性がある。そういった点についても今後検討していきたい。再編がもう少し具体的になったら保護者や地域の皆さまに報告・説明をしたい。</p>

意見	回答
<p>仕事柄気になったが、今、障がいを持っている子どもたちは各小学校に随時設立されているが、縦割りだったり横割りだったり学校によって違ったりしていると思うが、今回の再編にあたっては支援クラスはどうなるのか。</p>	<p>支援学級の編成については、障がいの種別ごとに国の基準があり、それに応じて編成することが基本。実際には障がいの程度、状態、人数によってなかなか決められた人数では効果的な教育活動を実施することが難しい場合もある。その場合は、学校で教室数、教員数を工夫しながらより効果的な教育方法の提供に取り組んでいる。</p> <p>学校が新しくなり、何名の方が、どういう障がいをお持ちの方が来られるのか現在は不透明な状態ではあるが、市では特別支援教育指導員を市独自で配置しているので、そういう形で特別教室の充実を図っている。</p>

【記入用紙にいただいた意見】(芝田小学校)

○自分の子どもには勉強、教養、スポーツなどお金をかけて投資している。小松島市としてしっかり未来の子ども、未来の小松島市の為に投資していきましょう。教育こそかける価値がある。

○1.5年先を考えるのであれば、15年先、20年先を考えるべき。20年先では市内2校案、小中一貫校をめざすべき。新しい土地は用地取得が難しいとあるが、土地をさがしたことはあるのか。特に新南小学校区は小中一貫校として(児安小学校を含む)1校にまとめるのが理想であると思う。新しい適地を早急にさがし、用地取得にとりくむべきである。(私は小松島中学校周辺がよいと思う)。
2.芝田地区の活性化策を考えてほしい。

○小学校再編に直接関係する乳幼児子育て世代にとって19:00~21:00は1番家を空けにくい時間帯。場所、日程を選択できる様に、土・日や時間帯の選択を増やして欲しい。本来、1番説明を聞きたい世代が説明会に参加出来なくては意味がない。
昨年も説明会に参加したが、昨年出た反対意見や疑問、問題点に対して回答や改善点が見られていない印象でとても残念。

○少子高齢化によって全国的に人口が減少しておりますが、小松島市においても減少している。学校再編が実施されると減少にますます拍車がかかり、今まで以上のスピードで減少していく。なぜ行政が市の人口が減少する様な動きをするのか。

○「アンケートで賛成が多かった」というが、みすみす人口減に拍車をかける再編すすめるのは、小松島市の自滅につながる。市長は「きれいな学校をつくり、若者ふやす、人口ふやす」というが、そうはならない。校舎のことより、子育て支援や、住環境のよさが人口増につながる。

令和3年度 学校再編に係る住民説明会 意見要旨

日 時: 令和3年10月27日(水)

場 所: 櫛淵小学校

参加者: 10名

職 員: 中山市長、三宅副市長、小野寺教育長、勢井副教育長、
 築原教育政策課長、稼勢学校再編準備室室長、河口学校再編準備室係長、
 曾我部学校課長、大島生涯学習課長

- 内 容: 1.開会
 2.市長あいさつ
 3.職員紹介
 4.配布資料確認
 5.説明
 6.質疑・応答(意見交換)
 7.閉会

意 見	回 答
<p>再編は財政面で困難な部分があつてやる。もし財政が、お金があつたらこのままだったのか、それともお金があつても子どもの数的に縮小していくのだったのか。財政的なことについての説明を、簡単でいいので、お願いしたい。</p>	<p>学校の再編について、本市の場合、児童人口がだんだんと減少している。生きる力等を伸ばしていくことになると、一定の集団の規模が必要。現在の11小学校ではそれが実現できないため、最終的にこのような計画となった。</p> <p>もう一つの問題は、ほとんどの学校の施設が50年以上築年数を超えており、老朽化が進んでいる。こちらについては、更新していかなければならないが、今の現状では、11小学校全てを更新することは難しい状況。</p> <p>今回の案は、令和15年度までの間、財政担当部局とも協議をして、無理のない計画の中で整備をしていく形でお示ししている。この計画を進めていくことにご理解いただきたい。</p> <p>実際、子どもの数の減少には厳しいものがある。表にもあったように、今10人から20人くらいの児童数で、市内小学校は推移している。だが10年後、20年後になったときにそれを下回る。そうすると、子どもたちの教育の活動内容や教育方法に制約が出てしまう。学校再編をする一番の理由は、やはり子どもたちの教育をきっちりやっていくこと。そのために、子どもたち同士で協力したり、意見を交わし合ったりしながらやっていける児童数を確保していきたい。教育委員会としては、そう考えている。</p>
<p>10年後には児童数が減る予測があるが、もしかして人口が増えるような施策を打つことによって、子どもたちにそういう教育をすることによって増えるかもしれない。いろいろ発展する教育施策をおっしゃられたので、財政が増えて、また小学校が10校できるような未来をもてるような、今回少なくとも減るかもしれないが、こういったことを考える機会だったと思うので、いい教育の与えられるいい社会になればと思う。</p> <p style="text-align: right;">(意見のみ)</p>	
<p>全国的に人口減は大きな問題となっている。当然、児童生徒も減ってきている。減少したことを前に置いての計画となっている。細かい数字を言うと、人口の問題が、平成元年から30年の間に、30年前は1,114人櫛淵にいて、この5月現在では796人と減少している。1世帯あたりの人口は4人から2.18と減っている。65才以上の方が約40%、限界集落に近い状態になっている。</p> <p>この辺の要因を学校再編、児童数の減少と並行して十分検討されていると思う。櫛淵は高速道路の工事が着々と進んでいる反面、幼稚園なくなり、交通機関も便数が少ない、医者もない、マーケットない、非常に高齢化が進んでいる。そのあたりが学校再編に拍車がかかる一因になるのかなと思う。</p> <p>櫛淵をいかに活性化させていくかを併せて検討していかなければならないのではないかな。</p>	<p>人口減少社会に歯止めをかけることは最重要テーマであって、我々全市一丸となって取り組んでいるところ。学校再編に関しては大きなピンチではあるが、これをチャンスと捉え、よりよい質の高い教育を小松島で受けられるような学校づくり、例えば、他市から小松島で教育を受けたいと転入してくるような学校、教育をめざしたいと思っている。</p> <p>櫛淵地区は、高速道路インターチェンジができる。ここを1つの大きな小松島市の核として経済をまわしていきたい、経済を盛り上げていきたいと思っている。もし仮に学校がなくなったとしても、そのインターチェンジで人が集まる仕組み、人が集まる施設を作っていくと考えている。</p> <p>幸いにして櫛淵地区は、若い人たちのコミュニティがしっかりしている。その人たちと協力しながら、この櫛淵から小松島市を盛り上げていきたいと思っているので、よろしくお願ひしたい。</p>

意見	回答
<p>疑問が3つある。</p> <p>1つは、学童が減っているということは、結局小松島市に若い世代が定着しないということ。社人研のデータがあるが、2060年、徳島県は4割くらい減る。鳴門は55%くらい、市で一番減るのは小松島市。再編も所詮は学童が減ったことなので、若い世代が定着するような市に変えていかないと、再編なんてたちごっこだと思ふ。前に市長とも話をしたことがあるが、企業の誘致、新しい事業を起こす企業の促進、バックアップとか、川上の方、源流を止めていかないと再編してもきりが無い。</p> <p>後は要望だが、今日出席している幹部、それから出席の我々もユーザーではない。パブコメをとるのであれば、中学生や高校生、父母になる人から意見を聞かなければ、ある意味正しいのがとれないと思ふ。</p> <p>もう1点。市街地の方に学校が増える。小松島の市街地は津波が来るとなくなるといわれているエリア。建物の耐震構造は安心安全かもしれないが、学校が市街地に移れば住む人も市街地に増える。大震災が来たときに、おそらく惨事が起きると思ふ。</p>	<p>人口ビジョンに掲げた人口3万人をめざして頑張りたいと思っている。出生数は年間200人程度になっている。10年ほど前は400人余り。来年はコロナの影響でまた少なくなるのかなと予測されているところ。</p> <p>まず、子育て世代に対して「何を求めているか」についてアンケート調査をとった。その中で、「子どもと一緒に遊べる環境づくりをしてほしい」といわれたので、今、本市では、公園の整備、若い人に関心の高いWi-Fiの整備をSL広場、たぬき公園、図書館で今年度進めている。休日等に子どもを連れて家族で遊べる環境づくりにしっかり取り組んで、若者世代の定着をめざしたいと考えている。</p> <p>2点目の若い人への説明会については、今11校で説明会を開いているが、この後、幼稚園や若い世代の保護者の方にもしっかりと意見を聞いていきたいと思っている。</p> <p>3点目、防災に関しては、今の南小松島小学校の敷地に新しい校舎を建てる予定で、そこは、ピロティ方式にして災害に強い、もし津波がきても耐えうるような構造を計画して新しい校舎を建てたいと思っている。</p>
	<p>就学前、幼稚園、保育園、認定こども園に通われている保護者の方には、アンケート調査を実施する予定で、いろいろなお意見がいただけるものと思っている。いただいたご意見はできるだけ反映させていきたいと思っているので、よろしく願いたい。</p> <p>若い世代の方に小松島に定住していただきたい。そのために、学校再編が1つのチャンスではないかなと考えている。このままどんどん児童数が減少して行って、校舎が古くなっていく。そういう状態ではなく、ここで1回仕切り直しをして、きちっとした教育内容、教育の充実を求めていく。</p>
<p>北島町、藍住町は、2060年人口が変わらない、徳島市のベッドタウン。小松島市もある意味徳島市のベッドタウン。若者は住むわけなのに、小松島には住まない。それを何か定着させる方策を考えなければ人口は先細る。若者が住みたいというモチベーションがあるはず。それを探して、ヒットさせないと。学校教育を充実させたら若者が住むかという、住まないと思ふ。充実だったら文理に行かすとか、他の方策があるわけだから。もっと別のことで、若い世代は住む場所を決めると思ふ。私の子ども、誰も小松島に住んでいない。阿南に勤めていても徳島から通ったり。小松島はアメニティがない、大きなショッピングモール、まちがゴーストシティのようにになっているイメージ。ショッピングモールも人口が多くなると誘致は難しいかもしれないが、そういったものもつくと若い人は住まないと思ふ。</p> <p>それから、市長さんが耐震構造のことをおっしゃられたが、私が言いたいのは学校が市街地に集中すると、当然そちらに住む方も増える。だから、学校が流されなくても住む家が流される。そういう意味で言った。</p>	<p>今回の計画で、市街地にある学校は新たにできる新小松島小学校だけ、あとの学校は市街地でない区域に入っているところにある。市街地である、ないというのは県の都市計画であって、にわかに変えることは難しい。今も市街地ということで多くの方が住んでいるし、これからもある程度の人口は住んでいくようになる。</p> <p>小松島市の場合、地震で津波が発生する区域があるという想定の中、学校再編については、今年の3月に専門家の方々に意見をいただいた。そこでは、津波がくることは十分考えられるが、小松島の場合はほぼ全域であることだけでなく、広島県であったような大雨で中山間地域で土砂災害が起こることが考えられ、どこに建てても何かの災害にあう可能性があるだろうとのご意見をいただいた。今回再編する学校については、そういったことを想定して、新築する際に津波に強い建物ということで対応する方がいいのではないかと意見もいただいた。それを踏まえて、施設整備にあたらせていただきたいと考えている。</p> <p>あと、「小松島市に住みたいという施策を打つべきではないか」ということについては、おっしゃる通りであると思ふ。ただ、教育委員会としては、学校は子どもたちにとってよりよい教育の場であるが、現実、人口が減っていて再編を考えなければならなくなっている。再編以外に、全市をあげて人口増につながる形を、市長の号令の元、考えているところであるので、よろしく願いたい。</p>

意見	回答
<p>今回の再編を前向きに考え、市長のおっしゃるようにこの町にとってのチャンスだということは間違いないだろうと思う。その学校に子どもが行きたい、親御さんも行かせたいという人を増やすのが今回の再編の目標だと思う。</p> <p>それで提案だが、新しくつくる小学校の制服をやめる、自由にする、自分の好きな服を着てくる。それと、校則をなくす。世田谷区立桜丘中学校は制服がないし、校則もない。定期のテストもないし、廊下で授業を受けている子どももいる。それから、中高一貫の麻布学園。理念は自由闊達、自主自立。いい理念はもらってもいいと思う。</p> <p>また、小松島は、南海トラフ大地震が起きて津波をかぶると、水道電気の復旧が他の市町村と比べて遅い。仮設住宅をつくる場所が少なく、家を修理する職人も少ない。教育の設備、図書館など設備が脆弱。それらのことでますます人口減が進むのではないか。ただし、小松島は新しく学校をつくる。県下、世界中から先生を集め、麻布の理念や多様性のある学校にすればどうだろうか。</p> <p>それから地域のこと。コミュニティ・スクール、学校運営委員会をつくっただけではさみすぎる。学校をボランティアセンターのようにしていく。希望する活動、交通指導員、町を掃除する人、そういったボランティアセンター。不登校などをサポートするフリースクール。子どもたちが町から出て行くのは止められないが、戻ってくるような。それには、小学生の時に忘れがたいプログラム、イベントを地域と一緒にやってやる。そういったことが、ふるさとを忘れないようなものが、学校のプログラムにあってもいいのではないかと思う。</p>	<p>現在の再編計画案が成案として成立した後、具体的に学校をどのように築き上げていくかについてのご提案ということで、また教育委員会で検討していくのでよろしくお願ひしたい。</p>
<p>4点意見がある。</p> <p>①今の11校での学校の維持費は具体的にいくらなのか。令和15年、4校になったときの維持費、間の校舎の建設費は除いて、学校を運営するお金の違いを教えてください。</p> <p>②11校のまま令和27年までいった場合、小松島市全体697人。令和15年で再編が終わって4校になってスタートして、令和27年になったときの児童数は何人になっているのか。</p> <p>③再編によって、V字回復をするイメージなのか、減少傾向にストップをかけるくらいのイメージなのか。</p> <p>④若い世代が小松島を選ぶということで、市の回答で、公園にWi-Fi環境とか、私は聞いていて、全然ピンとこないというか響かない対策かなと思う。市外でも公園は行けるし。小松島市の予算のこととかは分からないが、阿南市の羽ノ浦にすごく家が建っていつている。もっと単純というか、身近な医療費の違いとか、ゴミ袋を小松島市は買わないといけないとか、粗大ゴミとか、身近な部分で判断している気がする。学校の教育の内容も家を建てるときにあんまり気にしていないと思う。もっと身近な部分で魅力があればと思う。</p>	<p>①現在の小学校の維持管理費については、年度によって実際に支出した額は異なってくるが、手持ち資料のなかで答えさせていただくと、光熱水費、通信費、管理費、修繕費等込みで、平成30年度は11校で1億5600万円余り、令和元年度は3億8700万円余り、令和2年度は1億2200万円余りを支出している実績が出ている。</p> <p>このなかで、統合される学校は、平成30年度では、1億5600万のうち、6600万円が支出されている。この分がそのままなくなるというわけではないが、再編によって経費は下がってくる見込みである。</p> <p>令和元年度は2億1000万、令和2年度は5500万が統合される学校で支出されている。先ほども言ったように、この金額がそのまま差し引きされるわけではないが、再編をすることにより、管理費は当然少なくなってくるものと考えている。</p> <p>②令和27年度の児童数については、前のスクリーンにあるように、いちばん左端が予測される児童数になっている。再編後ではなくて11校の児童数でシミュレーションしたものだが、令和27年度は、小松島小52人、南小松島小196人、北小松島小57人、千代小45人、児安小59人、芝田小36人、立江小38人、櫛淵小16人、坂野小37人、和田島小77人、新開小84人となっている。これを足していただいて、再編後の児童数と考えていただければと思う。</p> <p>③今回お示ししている学校再編は、直接人口をどうこうするという計画ではないが、先ほど申した通り、これ以外の方策を全市をあげて、人口減にストップをかける、人口増につながる取り組みを考えている。効果があるだろうというものについては実行に移していきたいと考えているので、よろしくお願ひしたい。</p> <p>④子育て世代の方に住んでいただく方策については、いろいろな理由があると思うが、保護者の方に聞いた中では、見えるものを中心に他市町村と比較することが多いかと思う。住宅地の開発も影響しているかと思う。これも、それぞれ組み合わせて住んでいただきたいと考えている。先ほど申した通り、全市をあげて考えているところがあるので、よろしくお願ひしたい。</p>

意見	回答
	<p>Wi-Fiについてだが、現在、コロナ禍において自粛生活を余儀なくされている。密を避ける状況が1年半続いた中で、アウトドアが見直されてきた。地域活性化にもそういった観点を入れていきたい。港にあるしおかぜ公園、そこに家族連れ、小さいお子さんを連れの方が、土日になるとたくさん来ている。そこで、子どもを遊ばせたり、敷物を敷いてお弁当を食べたり、そういう空間をもっとつくってあげれば、例えば、あすたむらんどにできた木のおもちゃ博物館は子ども連れてたいへん賑わうのではないかと、文化の森も然り。子どもを連れて行ける場所が小松島には少ないので、例えば図書館の活用をしっかりと、その一体の整備として、Wi-Fiの整備をしていく。できるだけ、小松島で完結できるような社会づくりをしていけたら、他市に転居する人の足も少しは止まるのではないかと思ひ、若者達の居場所づくりに取り組んでいきたいと考えている。</p> <p>あと、ゴミの問題。粗大ゴミは申請制になるが、5個までは無料で引き取りに行かせていただいている。ゴミ袋は有料になっているが、本市は、今後、市民の皆さまにご協力いただきながら、ゴミの減量化にしっかりと取り組んでいかなければならない。上勝では、30項目近い分別をしているので、そこをめざして強く減量化していく。少しでもゴミの量を減らして、循環型社会、環境にやさしい小松島市づくりをしていきたいと思ひているので、ご協力をお願いしたい。</p> <p>あと、学校を選ぶとき、意見聴取会の時に伺ったが、新しい校舎、きれいな校舎で学ばせたいという意見が強かった。再編で新しい学校ができれば、小松島で教育を受けさせたいという方も増えてくるのではないかと思ひている。また、保健センターで母子健康包括支援センターを開設して、相談体制の強化をして、保健師も増やしている。そういった取り組みもやっていくので、よろしく願ひしたい。</p>
	<p>先ほどから、他市との比較のご意見をいただいているが、小松島には小松島の良さがあると信じて仕事をしている。</p> <p>教育委員会が中心となって学校再編を進めてきたが、今年に入って市長部局で関係する課、財政課など担当者が集まって全部の小学校を見せていただいた。榊小学校に寄せていただいたとき、少年野球の子達が大きな声で挨拶してくれた。これは、地域の方が少年野球を通じて子どもたちにいろいろなことを教えてきたからだろうと思う。地域の取り組みが子どもたちに引き継がれている良さはかけがえのないものだと感じている。どの地域を選ぶかは、若い方の選択になるが、子どもを地域とともに育てたい、有機農業の取り組み、ふるさとを残していきたいという思い、環境を守るなどの取り組みを含めた地域の良さを続けていきたいという姿勢は、市としても大事にしていきたいと考えている。</p> <p>そういう中で、都市計画上、市街化区域、調整区域の家が建てれる、建てれないことは大きな問題となる。榊、立江地区の農地は、調整区域ということで、農業をされている方しか家が建てれない。ただ、これから自分たちの地域をどうやって次代へつないでいくかについては、皆様のご意見をまとめて、これからの在り方、子どもたちをどうするかぜひ検討していただきたい。</p> <p>地域の個性や三世代での子育ては子どもの成長の大きな要因だろうと思うので、仮に子どもさんが進学等で外へ出られても、また、榊へ帰ってこられる、そんな小松島市になってほしいと願ひ、我々も取り組んでいきたいと考えている。</p>

【記入用紙にいただいた意見】(櫛淵小学校)

- 学区再編を計画通り進めるべきであるが、校舎(再編)建設スケジュールの前倒しを検討してほしい。
11校の修理等の費用が期間が長くなればなる程増えることになる。11校の老朽化を考えると子どもたちがかわいそうである。早く実現を!
櫛淵地区としては、通学支援(スクールバス)の充実を強く願います。
- ①若い人が定着し、子どもが増える施策を市として考えてもらいたい。
②櫛淵小学校が無くなっても、活気ある町となる様、市と町民で考えていきましょう。
③市街化調整区域を今後どう考えるのか。減す必要があるのではないか。
住宅を建てやすい環境を作ることも考えてほしい。
- 子どもたちのことを一番に考えることは大切だが、地域にとっての学校の役割も考えてほしい。
子どもたちを増やすことは若い大人が住んで頂くことが必要。
高速道路のインターチェンジを利用して住宅地、工場の誘致を考えては。
- 1,800mの徒歩通学はない。少なくとも通学路は直線ではない。
小規模校からモンスター校になった場合、子どもたちは対応できるか(学力、コミュニケーション等)
新開小学校地は、災害時、問題ないのか。
公園、Wi-Fi環境の整備にコストかけるより、子どもの医療費無料化をのばしたら?(小松島の魅力になる)
- 学童生徒の自然減少を前提としているが、他方人口、児童を増加する政策も併せて課題としていますか。
地区人口減対策
児童数の少ないメリットも打ち出すことが必要。
本日も、老人会、婦人会、社協共同で慰労会を催した。小学校児童1・2年生も参加していただいた。きずなです。
再編進行と同時にまた元の姿を再現するべく地域にとどまるような現況、住む人が増加するような展望を明文化していただきたい。
- いろんな施策が「人口減」を理由にしているが、ぜひ、人が増えるシミュレーション結果を導いてほしい。
今回は再編もいたしかたないと思うが、小松島市においては、小、中等教育、しいては高、大、生涯と教育(知識の獲得、応用実践)により優れた人材を「公」で育成されるよう、力を入れていただきたい。
教育により20年後、30年後、また、人口が増え、また11校くらい小学校が発展したらと思う。
カリキュラムの変更等で、田舎なのに生徒集める小学校(岐阜?)がTVで紹介されていた。おもしろい学校には、引っ越ししてまで通わず親がいるそう。
子育て、教育に特色がある地域として、県外、市外からの流入をはかる。
優れた人材が成人した折に、市内での経済活動してもらえよう、未来へ向けて、雇用、経済政策を準備する。
調整区域の再考

令和3年度 学校再編に係る住民説明会 意見要旨

日 時: 令和3年10月29日(金)

場 所: 坂野小学校

参加者: 11名

職 員: 中山市長、三宅副市長、小野寺教育長、勢井副教育長、
 築原教育政策課長、稼勢学校再編準備室室長、河口学校再編準備室係長、
 曾我部学校課長、大島生涯学習課長

- 内 容: 1.開会
 2.市長あいさつ
 3.職員紹介
 4.配布資料確認
 5.説明
 6.質疑・応答(意見交換)
 7.閉会

意 見	回 答
<p>前期に新小松島小学校、後期に新小松島南小学校に再編されるということだが、一定数の確保が大前提にあると思うのだが、今の現状で櫛淵小学校が複式学級になっているのに、なぜ、当面複式学級になる可能性の低い新小松島小学校から着工されるのか、説明をいただければと思う。</p>	<p>小松島南中学校区の櫛淵小学校においてはすでに複式学級になっており、児童数も減少してきている状況である。 ただ、小松島中学校区から始めるのには、校舎の老朽化がある。南小松島小学校と新開小学校を比較した場合、南小松島小学校の方が築年数が長い、老朽化が進んでいるという状況がある。本来なら、同時に進める方がよいということは十分認識しているが、財政面等、総合的に判断したものであり、小松島中学校区を先にという計画にしている。 櫛淵小学校については、すでに複式学級となっていることもあり、再編計画期間を待たずに近隣の小学校に統合する場合があると計画にも書かせてもらっているので、令和15年度の再編よりも先に統合を考えていくことになると思う。</p>
<p>前の説明会の時にもお聞きしたが、坂野小学校の子どもが新開小学校に吸収というか合併されるようになったときのメリットは何ですか。どうして新開小学校の場所なのか分からない。新開は土地が低いので、地震や津波のことを思うと、坂野の方が土地が高い。新開小学校に合併したときの坂野小学校の子ども、坂野町民のメリットを教えてください。</p>	<p>前回、計画案をお示ししたときも説明させていただいたと思うが、学校を再編するときが一番皆さんが心配されていたのは、通学面であった。アンケートの結果や、いろいろご意見をいただく中で、無理なく通えるところに学校があった方がよい、という意見がたくさんあった。それを踏まえて、できるだけ徒歩で通えるところに学校を再編することとして検証した結果、南小松島小学校、新開小学校、児安小学校、和田島小学校の4校の組み合わせが一番徒歩で通える児童の数が多いという結果となった。 津波の心配があるとのことだが、市内どの地域においても浸水被害があるという想定があり、新開小学校に今後建てる校舎については、災害に強い構造を考えていく。津波に対しては1階をピロティにする建築方法について、有識者からも意見をいただいております。そういったことを参考にしながら、災害に強い校舎であるように考えていくので、ご理解をお願いしたい。</p>
<p>坂小の子と坂野町民にとって、新開小学校へ行くメリットは何か。しかたなく行くということにしかならないと思うので。</p>	<p>学校再編については、将来にわたって子どもたちのためによりよい環境を整備するというのが目的。そのことについて、今回、各地域で説明させていただいている。各町のメリットということになると、様々な要因があるのでなかなか言えないが、小松島全域で子どもたちの教育、それからそこに住んでいくための施策は、学校再編後も必要になってくる。今回、再編によって、後の施設などについて地域の皆さんと一緒に考えていきたいと思っているので、ご協力をお願いしたい。</p>

【記入用紙にいただいた意見】(坂野小学校)

○原則、徒歩通学についてだが、学校よりバスの乗降場所の方が近いならバスを利用したい。スクールバスを運用するのであれば徒歩にこだわる必要はないと考える。

校舎除去後の避難場所は、当然確保していただきたい。

○新開小学校に合併するようになったら、入口の門と道はスムーズにおむかえに行けるようにしてほしい。

○「吸収される」といったイメージが強い。「新しい学校」という事をもっとハッキリ強く言うべきである。

○①参加者が少なすぎる

②想定質問におうじた説明をすべき

令和3年度 学校再編に係る住民説明会 意見要旨

日 時: 令和3年11月4日(木)

場 所: 立江小学校

参加者: 8名

職 員: 中山市長、三宅副市長、小野寺教育長、勢井副教育長、
 築原教育政策課長、稼勢学校再編準備室室長、河口学校再編準備室係長、
 曾我部学校課長、大島生涯学習課長

- 内 容: 1.開会
 2.市長あいさつ
 3.職員紹介
 4.配布資料確認
 5.説明
 6.質疑・応答(意見交換)
 7.閉会

意 見	回 答
<p>今回説明会を開くにあたって見直した点、前回何が足りなくて見直したのか、見直した内容はここ、ここと、重点的にもう少し深く教えてほしい。</p>	<p>前回の計画では、2030年度までに4校にする方針を示していたが、有識者会議や住民の皆様からの意見で、計画を中長期的な視点で考えていく必要があることや、使える校舎は使いながら段階的に進めた方がよいことがあった。</p> <p>期間としては、前回の10年間で4校から、12年間で5校という計画となった。また、計画の中に見直し期間を設けて、再編計画を改めて立てていくということで、計画期間が長くなっている。あとは、前回、十分に財政面での検討がなされていなかったため、財政的な検討を加えて無理のない、より実現性のある計画になるよう、新設校については5年間で1校のペースで整備をしていく見直しを行った。</p>
<p>市長に質問したい。学校再編については、地域の人たちは大変大きな問題として捉えていると思う。特にこれから学校に進学していくご父兄の方々、保護者の方。それに、小学校は地域の名前を冠している。立江小学校、榑淵小学校。それが仮称でも新小松島南小学校、非常に無機質な名前になるというのは、私たちの年齢の者にはさみしい思いがする。市長は、前の議会においてこう答弁をされている。「小学校再編によって地域コミュニティがなくなるとは考えていない。再編後は、地元の住民や団体が子どもの成長と学びを支える地域学校協働活動に取り組むなどして、絆を深めていく」と答えられた。一体、この地域学校協働活動というのは、具体的にどのようなものを考えているのか。</p>	<p>教育委員会から、地域学校協働活動について説明させていただく。説明の中にもあったが、地域学校協働活動、学校運営協議会、コミュニティ・スクールの2つ。</p> <p>まずコミュニティ・スクールは何かというと、こういった学校が作りたいたいといった校長の理念をもとに、教員だけではできないことについて、地域の方にご協力いただいて実現していくという形のもの。</p> <p>一方、地域学校協働活動とは、地域の社会教育活動。公民館とかそういった団体が、学校へアプローチして、学校と一緒に子どもたちの教育を進めていくもの。</p> <p>どちらもめざす方向は、地域と学校が一緒になってやっていくということになる。現在、地域学校協働活動で行っている事業としては、この地域にはないが、放課後子ども教室、部活動外部指導員など。これについては、昨年度あたりから始まった新たな制度で、できることをやっいてこうという形で動いている。</p> <p>学校の跡地利用についても考えていかなければならない。今、地方創生がいわれているが、それは政府がするのではなく各自治体、より地域を知っている人たちが地域を盛り上げていこうということから始まっている。公民館活動や町民運動会で跡地を使って地域コミュニティを高めていくことも必要。自分の家を提供して、そこで大学生を集めて農業体験をしようという動きもある。</p> <p>そういったことを活発にやっていって、地域に外から呼び込む、地域の人と一緒に地方創生をやっていくことが大事。もちろん学校があることは大事だが、それが全てではない。人がたくさん集まれるものをつくっていけばよいのかな、そのお手伝いを我々もしていくのでよろしく願いたい。</p>
<p>地域学校協働活動というのはどういったものなのか、どういったものを描いているのか。学校と地域が今のように非常に近い関係なら連携してできるのだろうが、広域の学校になった場合、どういった形を考えているのか説明いただければありがたい。</p>	<p>再編によって学校は場所が変わるが、地域の公民館は今の形で残していくことで動いている。そこで、地域の伝統やいろいろな文化を子どもたちに地域の方々から教えていただきたい。子どもたちにとっても地域の歴史や郷土愛を考えることになる。そういった活動をぜひしていただきたいと思っている。学校以外での活動というものも今後考えていきたいと思っているので、よろしく願いたい。</p>

意見	回答
<p>私たちの子どもたちがこれから新しい学校ができたとして、現在もそうだが、通学時の安全確保についてと通学方法等について伺いたい。</p> <p>検討委員会で、南小松島小学校は、保護者が子どもたちを自家用車で送迎している、その時に車を止める場所が厳しいところがあるという話が出ていた。この後、新開小学校に学校が再編されたとして、多分、通学において路線バス、スクールバスを出していただいたとしても保護者が送迎してくることが考えられる。それで、できれば、新しい学校には、車が停車できるような場所がほしい。それを検討、考えていただければと思う。</p> <p>それと、新開小学校に合併された場合、北側の方は中央線のある、歩道があるような道があるが、そこからバイパスに向かった道、子どもたちが歩いているところを何度か見たが、車が対向しかねるような道であって、徒歩で行くには非常に厳しい道かなと思う。そちらの整備もまた検討していただけたらと思う。小松島南中学校ができたときに、線路から森の本団地の方まで狭い道だったが、やがて中学校へ通う生徒の何割以上がこの道を通ると言ったら、いつの間にか広い道になっていたの、新小学校も通学路の周辺のところを考えていただけたらと思う。</p> <p>あと、先ほど、スクールバス等の話が出たが、大方10年前くらいか、合併したときにどのようなスクールバスの駐車場所があるんですかと尋ねたときに、現在ある櫛淵小学校や立江小学校に停車して、そこまで児童に来てもらって新小学校に通ってもらおうことを考えているとのことだったが、路線バスを考えているのであれば、そのバス停で児童が乗り降りできるようなことも考えていただけたらと思う。ご回答できる範囲でお聞かせいただけたらと思う。</p>	<p>南小松島小学校だが、送迎の車が乗り入れするには非常に危ない状況であることは、説明会の中でおっしゃる方がいた。今後整備していく中で、南小松島小学校については、今、西側の門しか出入り口として利用していないが、北側の門からも車の乗り入れができるようにすることや子どもさんを降ろしてスムーズに車が流れていくような整備をしていきたいと考えている。</p> <p>新開小学校については、周辺の道路が狭いというお話をいただいた。拡幅ができるかどうかについては、今後、交渉もあり、検討はしていくが、それについては、今すぐ、きちんとしたお答えはできない。ただ、通学路の安全確保については、再編までにできる限りのことはやっていきたいと考えている。</p> <p>今後、新設校について検討していく中で、学校再編準備委員会を設置し、その中の通学部会でスクールバスの条件や乗降場所について検討することとしている。学校の先生、地域の方、PTAの方に参加していただいて、どういった形が一番望ましいのか検討していく。今は、旧小学校で乗降することを考えているが、もっと場所を増やした方がよいなど、準備委員会で検討していくので、その時、またご意見をいただきたいと思うので、よろしくお願ひしたい。</p>
<p>南地区は新開小学校の方に計画しているということで、検討にあたって最も重視されたのが通学面、少しでも多くの児童が歩いて行けるということだったが、新開小学校の立地条件として津波の浸水想定がかなりあると認識しているが、その点は考慮されたのか。</p> <p>もう1点、新開小学校の敷地面積に関して、文科省の基準をおっしゃられていたが、規模が大きくなると今の面積では足りないのではないか懸念があるのだが、そこは大丈夫なのか。</p>	<p>1点目の新開小学校の位置についてだが、市内全域で小学校の場所を検討したときに、小松島は全域で浸水地域になる。有識者会議の中で、浸水地域にあたってはどういった校舎であれば回避できるか聞いたところ、市内どこに建てたとしても浸水地域にあたるので校舎については災害に強い校舎建築が必要だろう、構造としてはピロティ、南中学校のような1階部分に教室を設けず、2階以上に教室を設けるような形にすることで、災害に強い校舎となるような意見をいただいた。その意見を参考にして、建築に関してはピロティ形式にすることを考えている。</p> <p>敷地に関しては、国の基準は満たしている。現行の面積であっても国の基準を満たしている広さがあると認識している。ただ、それが適切であるかどうかについては今後検討し、拡幅が必要であれば手続きを踏みながら進めていきたいと思っているので、よろしくお願ひしたい。</p>
<p>南中学校と同様の1階をピロティ形式にという説明だったが、そもそも南中学校、立江中学校と坂野中学校を再編するときに、新しい土地を購入して建てるという説明が当初あった。それが、なぜか急に赤石グラウンド跡になるということで、浸水地域だが今の形状にすれば問題はないと教育委員会から説明があった。なぜ急遽そういうふうになったのか、疑問が今でも残っている。</p> <p>市内全域が浸水する地域ということだが、坂野小学校は確か、ほぼ浸水しない、0.5mくらいだったと思う。そういった土地もあるということはお理解されているのだろうか。</p>	<p>坂野小学校の方が新開小学校よりも高い位置にあることは認識している。</p> <p>ただ、徒歩で通える児童数が一番多い組み合わせを考えたところ、坂野小学校の位置では、立江、櫛淵地域から通っていただくには距離があり、徒歩では難しいということで新開の方で計画した。徒歩で通える児童数が多いことを最も重視した結果、坂野ではなくて新開の方で計画したので、ご理解いただきたい。</p>
<p>重視したことによると、徒歩で通うということで、そうなってしまうのだろうが、実際にピロティ形式で建てたとしても、津波が来て、津波はなかなか引かないことが想定されるので、陸の孤島になってしまうことが想定される。個人的な考えだが、新開小学校よりは坂野のほうがいいのではないかと考えている。</p> <p>もう1点、お伺ひしたいのは、建設費のこと。総額で65億円、今回の再編の事業でかかるという説明であったが、そのうち小松島市の負担としてはいくらになるか、ご説明願ひたい。</p>	<p>まだ建物の構造、面積、どういうものになるか、最終の形も見えない、あくまで概算段階での試算である。このくらいの児童数であればこのくらいの規模だろうという計算で出している。</p> <p>この中で、財源としては、国の補助金、交付税措置がある。それから、国が補填をいただける借入金、地方債と、あとは市の一般財源を考えている。国の補助がどれだけ受けられるかというのも、建て方あるいは中身によって変わってくるので、今の段階で純粋な市の負担がいくらかというのは計算できないのが正直なところ。</p> <p>ただ、南中学校建設時の建物の建築費、そういったものから考えると、このくらいの規模になるだろうということで事業費として出させてもらっている。</p>

意見	回答
<p>これも私個人的な考えだが、今回の再編の原因の1つとして建物の老朽化がある。児安小学校と和田島小学校は大規模改修をされるというところで、骨組みだけにして内装を全部取っ払ってするという内容で、多分、事業費が出ていると思うのだが、これだと市の負担が少なくできる、文科省の方からも出ていたと思うのだが、そういった改修をほかの11校でもしていけば、市の負担も少なく、11校の校舎の新しく整備ができるのではないかと思うのだが、それでもやはり、再編はされるのか。</p>	<p>再編をするのは、児童数がすごく減ってしまっていることにより、複式学級の教育活動をしなくてはならない状況に陥っていくことがある。そうなると、めざしている教育の内容や方法が実現しにくくなる。故に、児童数を一定規模確保するために行うことが大事であると考えている。</p>
<p>学校再編の目的の中で、児童数が非常に少なくなっていく表がある。この黄色のところは複式学級になる可能性が高いとおっしゃっていたが、先生が1学年に1人いてくれるのが望ましいと思うので、できたら、先生の加配ということも十分検討いただけたらと思う。これは、希望。</p> <p style="text-align: right;">(意見のみ)</p>	
<p>私は聞いていて、現実の話と理想的な話が上手くすり合っていないような感じがする。</p> <p>理想的な話をすると、教育は投資だと考える。おそらく小学制度というのは明治の4年か5年に始まったんだろうと思う。このときには、大変なお金がかかっただろうと思う。日本はまだ明治維新を過ぎてすぐの頃だったから。しかし、その中でも日本の将来のことを思えば、海外の列強に追いつき追い越すためには、教育が必要だということで、日本として大きな投資を子どもたちにした。それで各地に小学校、当時は尋常小学校ができた。</p> <p>私は、理想としては、小学校はできるだけ人数が少ないのがいい。小学校を考えると、ぶどうの房のような教育制度がいいと私は考えている。ぶどうの房というのは1つ1つは小さな学校、それが例えば月に1回とか2回、大きな学校に皆が寄って行って共に学んで、また地域に帰って、20人、30人の小さな学校で先生と地域の中で教育を受けていく。小学校というのは人格形成が大きな1つの要諦、学校教育の。その中で、子どもは少なくとも分教場方式があって、そして、月に1回2回大きい学校へ行って集まって学んで、また地域に帰ってと、そんな教育制度、今の日本の教育制度ではなかなか難しい、文科省としては、統一的な教育をめざす現代の教育論では難しいかもしれないが、できるだけ、そういうものの考え方を学校再編の時にも頭の隅に置いておいていただきたい。効率と財政だけを考えるのではなく、教育のめざすべきもの、理念を忘れないで学校再編に取り組んでいただきたい。そのように思う。</p>	<p>ご指摘いただいたところは、とても大切な部分であろうかと思う。反面、本当に近年いろんなものが大きく変わっているし、昔できたことが今できていない。</p> <p>例えば、神社で子どもたち同士が遊んだり、田んぼで走り回ったりとか、そういった空間といったものが残念ながら今の子どもたちにはない。どうして一定規模の集団かということ、子どもたちの学力、といっても知識だけではなくて、友達同士で、たまにはけんかをしたり分かち合ったり、そういった体験の中で、大人になったときに社会人として周りの人たちと一緒に仕事ができる、そういった教育を実現していきたい。昔、遊びの段階でできていたことまでも学校で、集団の中でやらざるを得ない。そんな背景がある。</p> <p>もう1つは、大きければいいという考え方ではない。大規模校になったら、先ほどご指摘いただいたように加配をつけてくださいというのは、そこに先生の数を増やして小さい集団をつくっていかねばならない。そんな柔軟的な指導をしていかなければならないと考えている。</p> <p>先ほどおっしゃっていただいた理想的な部分がすごく大切だということは重々分かっているが、これから20年後、30年後の子どもたちにとってどういう教育が一番なのか、そういったことを学校再編で実現していけたらと考えている。</p>

【記入用紙にいただいた意見】(立江小学校)

○地域にとっては小学校は大切なもの。理念を置き忘れず、学校再編を進めていただきたい。

○4校の住民説明会を聞きに行き思った事は、みんな1回の説明である程度分かったような感じがした。でも、先の中学校の再編の時は本当に坂野中学校が、母校がなくなるんだと思い、さびしかった思いがした。そう思っている人も多数いることも忘れていただきたいと思う。本当にこれから先、学校再編で良き小学校が出来る事を願います。

令和3年度 学校再編に係る住民説明会 意見要旨

日時:令和3年11月5日(金)

場所:和田島小学校

参加者:21名

職員:中山市長、三宅副市長、小野寺教育長、勢井副教育長、
 築原教育政策課長、稼勢学校再編準備室室長、河口学校再編準備室係長、
 曾我部学校課長、大島生涯学習課長

- 内容:1.開会
 2.市長あいさつ
 3.職員紹介
 4.配布資料確認
 5.説明
 6.質疑・応答(意見交換)
 7.閉会

意見	回答
<p>学校再編はやらなければならないことであって、早急に実施すべきであると思う。今、再編の計画を聞いてちょっと疑問があったので質問したいと思う。</p> <p>1番目に小松島中学校区域の再編、2番目に南の方の中学校の再編となっている。資料I-②学校再編の目的を見ると、先ほど教育長もおっしゃっていたが、友達同士の云々と言うのだが、ここで色が変わっているのが櫛淵、黄色になっているのが立江、坂野。それを言うのであれば、この計画、1期2期を反対にすべきではないか。経費の問題とかいろいろあるかとは思いますが、私は疑問を感じるのので、どういうふうにこちらが先、こちらが後となったのか、聞かせてほしい。</p>	<p>児童数の減少については小松島南中学校の方が現時点で少なくなっている。小松島中学校区では南小松島小学校敷地に建てる、小松島南中学校区では新開小学校敷地に建てるという計画にさせていただいているので、南小松島小学校と新開小学校の校舎を比較すると、南小松島小学校の校舎が築年数が長くて古い状況となっている。早急に南小松島小学校の方を建築したいということがある。同時に2校をいっしょにできるのが望ましいのだが、財政のこともあり、先に小松島中学校区の方を進めていく計画にさせていただいているので、ご理解いただきたい。</p>
<p>老朽化ということか。</p>	<p>老朽化、施設面の古さということで、優先させていただいた。</p>
<p>櫛淵、坂野が開校までに、もう櫛淵は複式になっているようだが、坂野もなるかもしれないという中で、複式ですとっていくのか。教育理念だと、できるだけ大きなところでという考えなら、何かの改善策があるのかという気がする。ちょっと学校再編とは違うが、よろしく願いしたい。</p>	<p>櫛淵については、現在、複式学級を編成している状況。今回の計画の中にも書いてあるが、この再編計画の期間を待たずに複式学級が継続する学校については、先に近隣の小学校と統合するとしている。そういった学校については、近隣の小学校に統合することについて検討していくことになる。</p>
<p>現在、子どもが和田島小学校へ通っている。</p> <p>今回の計画で和田島小学校、大規模改修ということだが、見ての通りだいぶ古くて新築が望ましいのではないかと思うのだが、大規模改修となると何十年くらいもつものなのか。</p>	<p>和田島小学校については、令和8年度から10年度のいずれかの時点で大規模改修をするという計画を出させていただいている。約10億円をかけての改修になるかと思うが、今までいろいろなところに手を加えていなかった状況もあり、通常であれば40年くらいで想定しているが、内容によっては20年くらいになることも考えられる。</p> <p>今後、改修内容については、詳細を詰めていきたいと思っているが、少なくとも20年以上はもつような内容での改修をさせていただきたいと考えている。</p>
<p>児安小学校と和田島小学校は、見直し期間を経て、いずれは統合になるのかなという心配がある。見直し期間で、統合するライン、生徒数のラインがあったら教えてほしい。</p>	<p>複式学級になる人数が2学年合わせて16人となっている。1年生を含めば8人ということが基準となっている。そういったところが統合するラインになるのかと考えてはいる。</p>
<p>続いて申し訳ないのだが、16人、複式学級にならなければ当面は存続するという理解、認識で間違いはないのか。和田島が複式学級になることは、将来的にも考えにくいかなと思うが、どうか。</p>	<p>将来の児童人口の推移を見ていただけたらと思うが、今のところ和田島小学校については直ちに複式学級になるという状況を考えてはいない。ただし、20年、30年と進んだ中で、人口増加につながる施策がない限り、統計上減少していく形になっているので、その場合、複式学級が解消できないことがずっと続くようであれば、その時には、学校再編の見直しをせざるを得ないかなと思っている。</p> <p>今回の計画では、令和15年度に1回目の見直しをして、さらに10年先に再度見直しということで、段階的に見直し期間を設けているので、その中で、最も子どもたちにより教育環境となるように考え、計画を進めていくのでよろしく願いしたい。</p>

意見	回答
<p>和田島は端っこの地域なので、いずれは市街地の方に集約されてしまうのではないかと、地域の皆さん共通して思っていると思うのだが、人口を増やすために何か具体的な取り組みというのは、今後されるつもりなのか。和田島は漁業、和田島ちりめんは小松島で一番のブランドになっている。もし、小学校がなくなるとなれば、従事されている方も定住されにくいし、第1次産業に従事する人もどんどん減ってしまって、誇れるものが市にとってなくなってしまうのではないか。人口が増えるような取り組みをされる、されている、若しくはされる予定があれば教えてほしい。</p>	<p>人口減少社会に歯止めをかけるというのは、喫緊の大きな課題だと思っている。災害に強いまちづくりをめざして、全庁をあげて取り組んでいるところだが、なかなか。ピーク時には43,000人余りが住んでいたまちであって、11月現在36,500人を切ってしまったのが現状。</p> <p>しかし、諦めることなく、まずは子育て世代の応援をしっかりしていきたい。アンケート結果によると、子育て世代、お子さんが学校に上がる時、6才くらいになったときに市外に転出される方が300人くらいいる。同じくらい自然減がある。自然減に関してはどうすることもできないが、小松島市で健康で生き生きと暮らしていけるような施策を同時にとっていくが、まずは、子育て世代が転出しないような魅力あるまちづくり、例えば、若い方の居場所づくり、子育て世代の方が休日楽しめる場所、しおかぜ公園の整備、港を中心に公園まで、来年、再来年になるかもしれないが施設整備をしていきたい。</p> <p>また、来年1月23日和田島をコースとしたハーフマラソンが開催される。どんどん人が寄るようなイベントを積極的にしていきたい。それと、企業誘致。雇用が促進されないといけない。今、赤石港、あそら辺に工場用地、これは県に対して要望しているところだが、用地を確保していきたい。そこに新しい企業を誘致したい、というようなことも取り組んでいるところ。人口36,000人を切らないように努力していくこと、また、和田島は水産業が盛んなので、担い手に向けての取り組み、支援の充実、振興もやっていきたいと考えている。</p>
<p>和田島町は陸の孤島のような地形と言うか、地域である。和田島の核として、小学校を存続していただける、地域社会を維持するために核として小学校があるということは大変ありがたい。I-③に書いてあるように、児童数の減少によって、相互間における問題解決力の不足があるとか、根気強さの欠如、新たなものへの適応力の不足が指摘されているところであるが、そういうことが起こらないように、令和27年には和田島小学校も77人とどんどん生徒が減っていくが、減少による課題の解決のために、教育委員会で、そういった弊害が起こらないように取り組んでいただきたいと思っている。どうぞ、よろしく願いたい。</p>	<p>今回の小松島市全体の学校再編というのは、今おっしゃっていただいたような不安材料を払拭していきたい。それで当然、学校再編をした後、20年、30年先になってくるとかなり減少してくる、それをどうするのかという話になる。</p> <p>説明の中にもあったが、現時点では小学校は11校ある、再編することによって、8校、5校、4校と推移していく。小松島中学校区に小学校が2校ないしは3校、小松島南中学校区に2校というレイアウトをすることによって、今までだったらあまりできなかったこと、小学校間の共有、どういうことかというたとえばいろいろなイベントであるとか、授業の中身であるとか、そういったものを共有していけるのではないか。</p> <p>今はどうしても数が多過ぎて、先生が集まることもなかなかできない、相談ができない。だから、人数が減っていく、それを補うために学校間の連携を強化していくために再編をするというねらいである。少なくとも隣の学校とできるだけ共有を増やしていくことで、おっしゃっていたデメリットの部分を克服していきたいと考えている。</p>
	<p>人口減少のことで補足したい。安心安全のまちづくりをしていかなければならないと思い、24航空隊と大規模災害時における避難場所の確保の連携協定を結んだ。長年の悲願である航空隊への受け入れ、ただ人数の制限はあるが、それができるようになった。それを機に、和田島の遠見あたりの方が逃げられるような対策を今後積極的にとっていき、和田島地区の方の命を守るために懸命に取り組みたいと思っている。</p>

意見	回答
<p>私は、再編自体は反対である。やっぱり、地域地域に小学校を残していただいて、その地域の特色のある学習をしていった方がいいかなと思っている。というのも、和田島小学校の3年生、神社の総代長をしていた時に、子どもたちに和田島町の成り立ちとか、神社がいつできたかといった話をさせてもらったことがある。そういうふう地域地域によってそういうものがあると思うので、できるだけ地域の皆さんと子どもたちが話ができる。そういうことで、坂野小学校だったら坂野小学校を残すとか、いろんな方法をできるだけ考えてほしい。それも人口の減少で…令和29年だとかどのくらいまで人口が減少するという見積もりになっているのか。それが1つ。</p> <p>それと、和田島小学校を存続するためには、昔のように自衛隊の隊員さんを和田島町にできるだけ住んでいただくような方針をとってもらいたい。そうすることで、和田島の子どもと自衛隊の優秀な子どもと一緒に勉強して切磋琢磨できるのではないかと考えている。そういう点についても、市長さん、ご協力願いまして、自衛隊の人が和田島町に住み着けるような方針をとっていただきたい。もし、地震があって、どうこうあった場合、隊員の人がよそに居ると和田島になかなか来れない。橋が落ちる可能性もあるし、津波で流れてしまう可能性もあったら。できるだけ、町内に住んでもらう方針をとっていただきたい。</p>	<p>人口については、小松島市の人口ビジョンを掲げていて、2060年に3万人。それが可能かどうかは分からないが、私は極力今の人口を維持する努力をして全市をあげて取り組んでいるところ。これ以上減らさないように、減ってしまうとなかなか市民サービスが滞ってしまうという認識ももっているので、人口減少社会に歯止めをかけることを最優先で取り組んでいきたいと思っている。</p> <p>学校は、もちろん各地域に残ればいいのだろうが、学校に代わるもの、例えば、神社でのお祭り、こういった伝統文化をしっかり継承していくことと、公民館活動をしっかりと地域と一緒に支援させていただきたいと思っている。地域の賑わいとか地域の灯を消さないように、子どもの声が聞こえなくならないように、できることをしっかりとやっていきたい。これには、地域の皆さんのお知恵、ご提言・ご提案が必要なので、地域のことは地域に住んでいる方が一番詳しいので、そのへんのところをいろいろ教えていただきながら、しっかり守っていきたい。</p> <p>和田島地区においては、いろいろな協議会とか自主防災会が、自衛隊との連携、話し合い、対話等を重ねられていると思うので、和田島町と自衛隊が良好な関係を築いておられる。そういう関係があるので、今後も関係を密にしてなんとか隊員さんに残っていただけるような努力をしていきたいと思っている。いずれにしても、和田島町の皆さんのご協力が必要不可欠であるので、よろしく願いたい。</p>
<p>皆さんの話をお聞きして、同じ意見。5ページのⅢ-⑥を再編の方法とスケジュールを見ても、将来的には2校になっていくような感じになっているかと思うが、どれを見ても人数が減るのを前提に考えていると思う。それよりも、市長さんがおっしゃったように、増やす、これ以上減らさない、確かに大変なことだとは思いますが、企業誘致などして、人口をまず増やす、そうしたら自然と若い人も帰ってきてくれて移住してきてくれて、和田島っていいところ、小松島っていいところだと。テレビや新聞を見ても、Iターン、Uターンの人がたくさんいるところは、子育て支援が充実していると思う。若い方にたくさん来ていただくために、小松島の人口を減らさないというのが大前提で、これからどうやって増やすか。</p> <p>学校の再編計画にしても、人数が減って学校を合併するというのは大切かもしれないが、私は、複式学級でも何ら悪いことはないと思う。複式学級は複式学級でいいところも多々あると思う。そうでなければ、山あいの子どもさんとか親御さん、怒る。複式学級で学校生活を送らせてみても、人数が増えてきたらまた元のとおりにかえせるとか。何よりも、人口を増やして、これ以上学校を合併しないように。</p> <p>確かに改修をして予算もたくさんいるかと思うが、企業が来たら税金等でまかなえるかもしれないので、やはり小松島の人口、人を増やすよう、市長さん願いたい。</p>	<p>例えば、今日も来てくださっているが、3日にイベントを開いてくださって、市内外から40人余りの方に来ていただいて、いろんな各種団体の方が努力して、小松島の魅力を大いに発信していただいている。我々も遅れることなくしっかりと発信していきたい。先ほども申ししたが、1月のハーフマラソン、800人の定員がいっぱいになった。和田島の逆風を走りたいというランナーの方が多くいらっしゃる。その時に、漁協の婦人部の皆さんにご協力いただけるということも聞いている。和田島の魅力、ちりめん、すまし汁の美味しさなどをしっかりとアピールしていただきたい。</p> <p>我々も1次産業が持続可能な産業となるようにしっかりと支援していきたいと思っている。先日、東京で徳島県出身の飲食店を開いている方と意見交換をした。その前に、JAあいさい広場で、Zoomで50人余りの方とつながった。その方に小松島市の特産物、そのときちりめんは売っていなかったが、鱧、小松菜、しいたけなど売っていた。その新鮮さ、美味しさにびっくりしていた。このように本市の特産品、海産物をしっかりと売りこんでいきたいと思っているので、みなさんも1次産業の振興、担い手をしっかりと育てていただきたい、その支援はさせていただきたいと思っているのでよろしく願いたい。</p>

【記入用紙にいただいた意見】(和田島小学校)

○北小松島小学校のように編成の検討を和田島で数年後話し合いをしたらいいと思う。

○就学前の子どもたちの教育・保育にたずさわっているが、親御様よりよく聞くのは「～校区なのでここに家を設けたのに」「不安」「どうなるんだろう」と言った声。

こうした説明会には子育て世代の方への参加が必要。

ただ、育児・仕事に忙しいという現状があり、会場に来ていただくのではなく、Web配信、Zoomの活用などを行い、もっと情報を知ってもらうことが大切だと思う。ぜひご検討ください。

(QRコードで情報が見られるとかも良いかも。)

○和田島校区に住んでいるが、端の町なので、交通の利便が悪く、生徒数も減少している。見直し期間を経て、いずれは統廃合となってしまうのではないかと危惧している。

和田島ちりめん、しらす漁は小松島市の1番のブランドなので、第1次産業、従事者の定住を守るため、市は積極的な取り組みをするべきと思う。

校舎が大変古いので、早めに改修となることを希望します。

○学校再編も意味ある事で良いことだと思いますが、第1次産業、漁業にたずさわる者として、次の世代につづいてほしい。

○小松島を人口の増える街になる事を努力してください。

○災害の避難場所として和田島小学校の改修を早くしてほしい。

○子育てしやすい町にしてほしい。

○計画が着実に進んで行くようお願いしたい。

○学校再編はどうしてもやらなければならない事であり、計画が遅れてはならない。様々な意見はあろうが最良の計画であるとの信念を持ってすすめてほしい。

市内の方々の意見では、小さな子供のある方は大きな所に通わせたい。高齢者は小学校は絶対なくさないでほしいと言う。施設があっても人が居なくてはなんにもならない。